一部十錢

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大第四年第六號 大正十五年六月一日發行

第四年 第六號

無産階級戰闘雑誌

進め

◇英國の同志を凝視せよ(卷頭言)
時評……同人
機械文明と農村青年……湯原彦三
無産階級法律問題……布施辰治
自由勞働者と組合運動……加藤利藏
失業……渡邊あきら

六月號

起て自由勞働者……馬場久
無産婦人と階級意識……安達健吉
地方農村の現状……伊藤龍三
生野の勞農一揆……山川亮
病人を殺す醫者の話……關口熊吉
社會主義講話……石川準十郎

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

編輯室だより

讀者諸君

無産階級戰闘雜誌「進め」も文字の如く進み進んで四ヶ年を經過し全國各府縣に至らざるなく、無産階級解放雜誌としては組織も部數に於ても全日本に於て自他ともに許して居るところであります。

今後は進めの事業の一部として進めパンフレットを續々と發行致す豫定でありますから支局同志の人も一人でも多く讀者を作つて貰ひ度いと思ひます。

福田狂二氏著大衆と共に進めは即日發賣禁止となりましたが改版して出版することゝ致します。

寄稿歡迎

雜誌「進め」は全日本無産者階級の物であるとの定見によつて讀者諸君の輿論雜誌であると思つて組織勞働者も未組織勞働者も農村に於けるプロレタリアートも満天下に意見を訴へることです。

併し投稿は頗る自由であるは申す迄もないことですが紙面の都合選擇は編輯部に一任して頂き度いことです。

七月號より全戰飛報を八頁としたから地方同志諸氏よりどしどし寄稿してもらひ度い。

今後は禁止なからん

又々五月號も發賣禁止となつた、今年にこれで雜誌が三回禁止、パンフレットが二回だ、創刊以來發禁を喰ふ事合計十六回迄に發禁のレコード破りと謂ふべし、しかし吾々は發禁を以て痛快なりと思ふ小兒病患者ではない、今後は原稿も熟讀し吟味して發賣禁止を受けざる樣注意を重ねる、そして讀者諸君や支局諸氏に迷惑をかけない。

誌代に付いて

進めを發刊してから早や四ヶ年の星霜をへました雜誌進めは無代で貰へると云ふ樣な考へは最早や止して貰ひ度い。本部同人の血と汗の結晶です進めを喰ひつぶして行く人は無産階級解放運動を喰物にする人です。

地方地方の僅かの誌代でも本部では多大のものとなります、其點に付いて今後確實にやる考へですから左樣御諒解にあづかり度い。

十部以上の讀者を作つて下さる人には大割引を致しますからなるべく十人以上の同志を作つて戴き度いと思ひます。

進めパンフレット

◇**大衆と共に進め** 福田狂二著 改版印刷中

◇**唯物史觀略解** 橋野昇述 一部拾錢 郵税二錢

◇**近世社會主義史** 春田正著 即時發賣禁止

以下毎月二冊宛發行の豫定

（多數又は團體注文は特に割引す）

全土に支局を募る

今や資本主義は、斷末魔的狂態をもつて、吾々無産階級になやましているこれに對し空拳の吾々は、何物を持つて抗すべきか。たゞ強固なる結束より外ないのである、こゝに、十萬餘の讀者を有する本社は、普く全土に支局を設置し、大同團結を圖り、もつて來たるべき日の○○○に準備す。

全國の同志諸君、諸君のため無産階級のため、この際至急申込まれんことを希望す。

マルクス寫眞無代頒布

コロタイプ寫眞版丈一尺五寸巾九寸 二十版出來一部 參拾貳錢送料共

マルクスは科學的社會主義の鼻祖にして無産階級永遠の恩人である。吾社は最近原版を獨逸より取寄せ複寫して讀者に配布することゝした。今月中に誌代一ヶ年分前納せし讀者に無代で頒布する。至急申込まれたし。

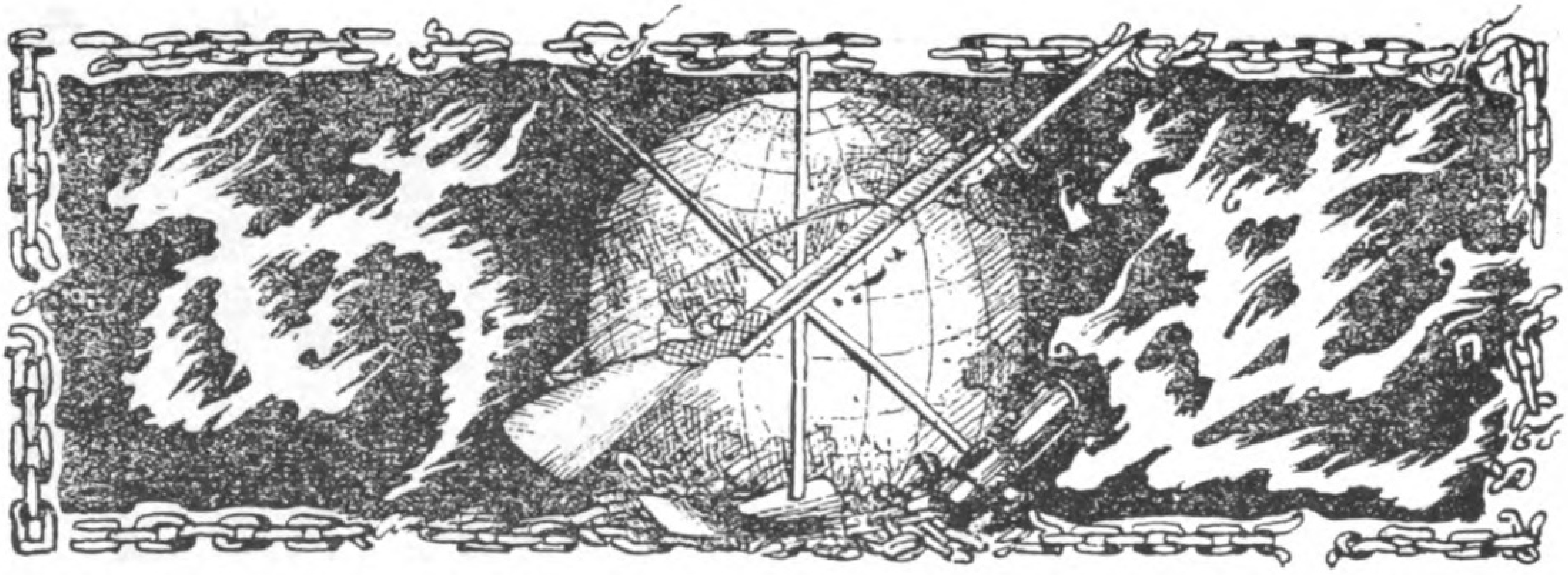
◇**マルクス寫眞集** 四六倍版アート紙美本 定價五拾錢 送料四錢

マルクスの幼時より死に至る迄の寫眞十數葉を聚めたるものにして新思想家の座右に備ふべきは勿論我等の永久に記念すべき貴重なものである。

◇**社會思想家寫眞集** 四六倍版アート紙美本 定價五拾錢 送料四錢

サンシモン、フェリー、オーエン、モリス、マルクス、バクーニン、エンゲルス、リープクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキー等

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



大正十五年六月　戰鬪・進め・雜誌　第四年第六號

英國の同志を救援せよ

五月四日より同十四日に涉る全英帝國の總罷業は、諸君の既に知悉せる所であつて、改めて玆にその經過を說くの必要を見ない。

今回の英帝國に於ける炭坑夫組合を中心として勃發せる、總罷業は假令その結果に於て、勝利を獲得したりとは言ひ難きも、各國の勞働運動が之れに刺戟せられて、何等かの暗示を得たることは明かである。我國の勞働運動社會運動に於ても、大に然りであらうと思ふ。

十四日を以て英國勞働組合評議會は、政府と妥協交涉の結果、今回の總罷業を打切ることを命令したが、資本家は今回の罷業に參加する各勞働組合員を、再び工場に入れることを拒み、政府は其等の資本家に對して、罷業勞働組合員の復業を工場主に强制するの權利なしと宣明し、事實に於て罷業勞働者は完全にロシク・アウトされたる形にある。

吾等素よりボールドウヰンの政府を以て、無產階級に味方するものには非ざるを知るも、今回の英帝國の總罷業が、決して勞働組合側の挑戰に非ずして、彼等資本家が炭坑夫組合の正當なる要求を蹂躙せるより勃發せる、正當防禦的の罷業であるを知るが故に、如何に保守黨の資本家政府なりとも、罷業勞働者に對する資本家側の事實上のロック・アウトを、決して閑視するものではないと推察してゐた。

所が今日の新聞紙上に現れたる報道に依れば、前述の如くに政府と資本家とは相提携して、勞働組合に對して完全にロック・アウトを敢行せんとしてゐる。その結果として新たに職を失へる五十萬の勞働組合員は、工場より街頭に追ひ出されて、半永久的に飢餓の生活に陷らんとしつゝあるのである。

思ふに今回の英帝國の總罷業程に、階級の區別を明かにしたものはなく、その結果に於ては『××××××××××××××××××××××××××××××××。吾等は無產階級の解放は、結局無產階級それ自身の力のみに依つて、完全に實現される事を、今回の罷業に於て强く經驗した。

全日本の無產階級の諸君に告ぐ。今や英國の吾等の同志は、資本家とその政府の彈壓の下に生活を奪はれんとし、また現に奪はれつゝある。この英國の同志を救ふものは、全世界の無產階級同志より他にはない。諸君の貧しき財布を開いて、英國の同志を救え。これ吾等無產階級道德の、吾等が良心に命ずる所の聲である。

全英帝國の總罷業は破れた。然しながら全英帝國無階級萬歲！　インタナシヨナル萬歲！　を吾等日本の無產階級は確信を以て叫ぶであらう。

時評（同人評語）

既成政黨の行詰り
黨費公開問題への逅路

近頃の笑ひ草は政黨の黨費公開問題であらう。今日の政黨組織をその儘で容認して、改めて黨費公開とか、政黨の倫理化とか說かれると、吾等無產階級には『そらまたか』と、眉に唾液をつけたい氣がする。それ程にこの問題は近頃にない笑止の沙汰である。

今日の政治は金次第だ、とは嘗ては内閣總理大臣もやつた清浦圭吾の述懷した所だ。それ程に政黨と金とは、切つても切れぬ惡緣であり、その政黨の金の大部分の使用途が、選擧費用であり、その選擧費用が候補者の持ち出した金か、乃至はその候補者が因緣附で何處からか出して貰つた金である以上、政黨の黨費公開などとは、假令それが形式の上では立派に辻褄の合つた發表ではあつても、それは誠に、『紺屋の明後日』と同樣に、其場逃れの口上に過ぎぬものであることは、今日の選擧に際してさへ、兎にも角にも當該警察署には、チャンと選擧費用明細書が提出されてゐても、その裏面に廻れば、そんなものは一片の反古紙に過ぎないと同樣に、餘りにも周知の事實ではないか。

今日になつて、既成政黨が他から問題にされず、に自分自身で黨費公開などと言ひ出したに就ては、田中山梨兩大將の事件を中心にした、五十二議會の醜惡に自ら耻ぢもした點もあるにはあらうが、それ以上に、普選を前に控えて無產政黨との決戰に、新選擧民の信望を失ふまいとの用意とも見られる。

完く政黨の倫理化が聞いて呆れるの他はない。既成ブルジョア政黨の組織そのものが、既に一脈の暗黒を殘さなければ、到底成立して行けぬやうになつてゐるのではないか。その組織をその儘にして置いて、倫理化を行ふ等とは、何を今頃タワケたことを仰言ると云ひ度い。而かもその率先して說く人達が、何れも政界の札附、前科者ではないか。今日はもうそんな狸の出る幕ではないよと、吾等プロレタリアは、かう云つて彼等の木戸錢取りの口上を、冷笑して通り過ぎるだけである。

英國總罷業の教訓

去る四月三十日夜半十二時を期して決行された炭坑夫組合の總罷業に次ぐに、去る五月四日午前零時を以つて決行された全英勞働組合の同情總罷業に火蓋を切つた英國總罷業人員四百萬人は、果然全世界の視聽を集め、全世界の無產階級の血を躍動せしめた。然し罷業は間もなく同十二日を以て保守黨政府との間に交涉を成立せしめた勞働組合聯合會の代表者に依つて中止命令が發せられ、一時全世界の有產階級の心膽を寒からしめた英國空前の總罷業も、爾後徐々に鋒を納めつゝあるものゝ如くである（五月十五日までの狀態に依る）。而して總罷業の結果は必ずしも資本家及び勞働者のいづれの有利に歸した譯でもなく、換言するならば今回の總罷業は何等直接の効果を奏しなかつたものと言ふことが出來る。

元よりこのことは××××××××××××××總罷業（ゼネラル・ストライキ）の不信を立證するに足るものではない。今回の比較的不完全な總罷業が直接の効果を奏しなかつたからとて、直ちに次の比較が完全な總罷業も同樣の運命に終るであらうと云ふことにはならない。×××××××××××××××、××××××××××××××××××××××××。殊に英

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國の如き國に於て然りである。このことはロシアに於て戰時暴力革命が成功したからとて、直ちに各國無産階級運動もこれと軌を同じうすべきでない、且軌を同じうするであらうと云ふ事にはならなく、ロシアに於て社會主義者の政權奪取後新經濟政策を採用したからとて、各國社會主義運動をその政權奪取後同一の行程を採るべきであり且採るであらうと云ふことにならないと同樣である。ロシアに於て戰時暴力革命を可能ならしめた決定的動因は、ロシア資本主義の發達程度そのものではなくして、寧ろロシア多年の社會的特殊事情（比類無き專制國であつたと云ふ所の）及び戰時に於ける特殊狀勢であり、ロシアをして今日資本主義政策を採るを餘儀なからしめつゝあるものも、又斯かる特殊事情乃至特殊展開の餘波なのである。随つて今回の英國の總罷業を以つて俄かに何等かの推斷を求むることは出來ない。

然し乍ら、そこには我々をして痛感せしめずには置かない所の而して考察せねばならない所のあるものがある。それは英國勞働組合百年の發達を以つてしても尙、社會大衆は勞働組合の外にある觀のあることである。

レーニンはその某著に於て、ドイツ五十年の無産階級運動の發達を以つてしても尙、千五百萬の勞働者の中三百萬しか勞働組合の中に組織し得ず、社會民主黨の中には更に百萬しか結成し得なかつたことを引言して、その全部を包括することの結局不可能なることを、随つて合法的手段に依る社會主義社會達成の不可能なる事を論じて居る。

我々は決してこのレーニンの所說をそのまゝ受け納れるものではない。が我々は有り得ることは有り得ることゝして大膽にありのまゝ考察しなければならない。日本に於ては勞働組合若しくは農民組合の下に、果して社會大衆を幾何の程度にまで組織し得るであらうか。若しも組合の組織網の中に入らない若しくは入り難い尨大な乃至大衆部分が尙有りとするならば、我々は如何にしてこれを無産階級的に組織すべきかであるか。日本に於ては恐らくいづれの國にも勝つてよく組織されたる在郷軍人團及び青年團が到る所に在存することも忘れてはならない。

我々が組合萬能主義に賛成し得ない點は此處に在る。組合は元より出來るだけ發達せしめなければならない。がそれと同時に組合の組織網に入らない大衆の重大部分の組織も志さなければならない。

ブルジョア政治への抗爭としての市議戰に勞働組合參加せよ

社會運動の中心は、既に都會を去つて地方に移つたとは、兩三年前から頻りに言はれてゐた事であるが、今や完全にさうなつた樣である。共産黨系に屬する社會科學聯合會や無産青年同盟が、到處にボイコットを喰つて、慘憺たる悲境にあるにも拘らず、地方には今や深刻なる社會思想の浸潤が見られる。そして其の中心となつて活動してゐる鬪士は、四五年前の如く、都會歸へりの連中ではなくて、眞面目なその土地生え拔きの人物である點に於て、昔とは全然違つた强味を存してゐる。

彼等は未だ共産黨のそれの如くに、ハッキリと組織を持たない。無論、それは今日の如き、彈壓治下に於ては、許さる可くもないけれど、各地方に夫々割據して、大衆の中に根強く喰ひ入つて行きつゝある。今や我國の社會運動は、炎々と燃え上る所の焰ではなくして、裂風に壓えつけられて、地上を舐め廻る所の白熱せる烈火である。それは默々として動かざる如くに見えて、實は滔々として流れ去る大河の水の如きものである。

日本の現實に喰ひ入り、それを動かして、正にその行く可き所へ正しく、彼自らは行きつゝある。六月に行はるる東京市議戰に、官業勞働、市電自治會等の各組合が、結束して無産階級の立場から立たんとしてゐる事は、正に我國の社會運動が、彼の爆狂なる革命病から醒めて、ブルジョア政治權力に對つて、少くとも一指彈を加へんとする試みとして、その成否は兎も角

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

も、喜ぶ可き現象と云にねばならぬ。

唯、茲に注意を必要とする事は、これがブルジョア政治への追隨ではなくして、何處までもブルジョア政治との抗爭に終始すべきであると思ふことである。

メーデーの標語と不平

『俺達の日メーデー』一年三百六十五日の中たつた一回のこの日だけが俺達の日だ、と云ふ事は後の三百六十四日が奴等の日だと云ふことだ。この人類に取つて不名譽極まる烙印を力もて投げ返さうとする日が即ち五月一日だ。云ひ換れば一年三百六十五日をして總て俺達の日たらしめ様とするのが五月一日だ。

從つてこの日は過去一年に於いて行はれた個々の鬪爭の總決算を同志に報告し、改めて新らしき『我等が宣戰』を奴等に發すべき日である。

この意味に於て本年度のメーデーに就いて聊か物が云つて見たい。

× × ×

普選！單一無産政黨！右の標語の流行、それに對して生れた勞働農民黨の樹立、又ぞろそれを廻る農民組合の分裂及び總同盟對評議會の抗爭、政研の崩落と實に多事多端を極めた最近の我勞働運動界は、今後更にどんな轉換振りを示すことか。

何と云つても不統一なる組合運動の現狀を悲しまずにはゐられない。

▲全國總聯合の促進！　この標語は毎年メーデーの先頭にかゝげられた標語であつた。だけそれだけ我等に取つては必要かくべからざるものであり、奴等に取つては恐るべきものである。

然も現實に於ける我が組合運動は事毎にこの標語と反對の方向に進展しつゝありはしない？即ち大正十一年九月に於ける大阪の總聯合協議失敗から今日までロには旺んに力説されつゝ實現は『今日こそ俺達の日である我々は今日こそ、こぞつて團結の力強い威力を示さねばならぬ』と云ふメーデーに於てすら相互が相互を呪はねばならぬ現狀は、如何なる理由から云ふも面白からざる事と云ふの外がない。

▲失業防止の徹底！　昨今の不況氣の中にあつて、この聲、このモットー程刺戟強く耳底にピンと來るものはあるまい。

それが爲め各組合は實行運動として、失業者名簿の作成、演說會、ビラ撒、と相當熱心に行つたであらふ事は認め得られるとするも、この組合側の對策運動が結果に於てどれだけの效果を收め得たかは知るべきものがない。何故かなれば、組合利己心の牙城にあつてその門戸を開かぬ各組合、謂換れば個々にして不統一極まる組合目下の運動狀態に於ては、不況氣にともなふ大小工場の馘首、それに對するには最上なる戰術よりも只一つの團結――組合相互の意志の一致が必要であると思ふ。結局一工場一組合孤城主義は落日を拜むよりいたし方がないであらう。

▲自由勞働者の傷害保障！

不況とアブレの多い資本主義治下の自由勞働者が、傷害の場合特に不安と悲慘を極めて來た事は、一つは彼等の生活が、今日は東明日は西と云ふ如くであつて、彼等が組合を造る上に甚だ不便の地位にあつたからである。從つて彼等のこの熾烈なる欲求、當然なすべき要求すら今日まで放棄せられてあつたのである。

然し何はともあれ最近著しく組織化せられて來た自由勞働者の組合からこの叫びが上つて來た事は痛快な事である。

▲惡法反對！

苟くも無産階級解放運動の障害となるが如き法律又は法案、例へば昨年の治安維持法の如く我等の政治的擡頭をヨク壓するのみならず、××××××××××××××××××××××もあるかの如きもの又は勞働組合法案、爭議調停法案、暴威取締法案等を一括しての反對標語であつて、是非共勞働軍自衛のため極力反對すべきであるが、シツカリした組合相互の一致運動が缺けてある今日に於てはこの運動も亦强い力が籠つてゐなか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つた嫌ひがあつたと思ふ。
要するに玄翁の如く、頭のみ重くして、思想の古綿をつめ、足の聯合の出來ざる、目下の運動方法は斷じて解放戰線上に大した好果はないと云ひたい。

斬風録

▲この頃カラリとしないものに天候と勞働農民黨がある。雨となるなり風となるなりバサリとやつて貰ひたい。一體共產黨派と寢ようと云ふのか寢まいと云ふのか。そんな曖昧なことで日本無產大衆の信任を博さうなどゝは押しが太からう。

▲新農民組合（全日本農民組合同盟）厭にフヤケた綱領及び宣言を出す。『右傾』『右傾』と言はれるからとて、何もさう『右傾』して見せるには及ぶまい。要はメリケン式ハイカラ・デモクラシーになることとぢやあるまい。

▲總同盟前線同志會の徒、先には評議會本部を襲ひ、今度は三田署を襲ひ、獄屋につながる。
×××××。×××××××
××××××××××。總同××××××××××××××
×××××××××××××。

▲赤松克麿等『無產者新聞』を向ふに廻して『民衆新聞』を發行するとある。兎に角刀は拔いたら斬ることだ。

▲『社會主義機關紙』を標榜して『社會日々新聞』（日刊）生る。これも行るなら捨身で行る事だ。

▲この頃益々流行らなくつたものにコンムユニスト・フアンの辯證法手淫主義がある。『レーニンズム』をチヨイト小脇に抱へ今更おかしくもない辯證法的觀念論に浮身をやつして錯覺的左翼悲壯感に昂奮して居るその邊のコンムユニスト・フアン共が、天晴無產階級の戰士であるならば、帝國ホテルあたりで毛唐に腰を抱かれてダンスして有頂天になつて居る遊閑階級の女共も、天晴インタナショナリストだらう。最近所謂『左翼』のインタナショナリズムなるもの、この域を脱せず。

▲大山郁夫、鈴木茂三郎等連袂政治研究會を脱す。世間は今更見向きもせず。

芝から上野に

雪崩れ！雪崩れ！雪崩れ！
全員一萬三千、青葉若葉の薫る
初夏の晴空、五月一日、蜿蜒長
蛇の陣。
今日ぞ俺達の日だ！
聞け萬國のロードーシヤ
轟き渡るメーデーの示威者に
起る足どりと未來を告ぐる鯨
の聲。ノドヨ破れよ、
永き搾取に惱みたる無產の民
よケツキせよ今や二十四時間
の階級戰は來れるなり
赤旗黑旗の林立の渦卷は目を蔽
ひ、白大の長旗は中天に游じ、
汝の部所をホウキせよ
汝の價値は眼醒むべし、全一
日の休業は社會の虚僞をうつ
ものぞ。
喊聲を芝に起し上野に轟かす、
沿道は聲に和してウナリを生
じ、これを守る羅卒三千、敵將は
馬に股がりて味方の陣營を亂す
檢束は檢束に次ぎて、その數實
に三百五十、
起て勞働者奮いたて
奪ひ去られし生產を正義の手
もて取り返せ。
彼等の力何ものぞ。

× × ×

メーデーも過ぎた。
雪崩れ！雪崩れ！雪崩れ！
腦味噌のハレツ、胃のフの洪
水、頭が痛い〳〵頭が痛い〳〵
陽氣の加減ばかりではないらし
い、氣の小さいことだ。クヨク
ヨするな地球はコロガル樣にし
かころがらないのだ。
シヨセン人間は生れた時と同
じ樣に地球の上にシカ死げない
のだ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

機械文明と農村の青年

湯原彦三

科學の發達は機械文明を齎らし人間が機械を發明するようになつた。機械文明の發達は勞働の尊貴、即ち勞働人の勞力を貴んで勞力少くして多くの物質を生産することを考へたのである。

然るに現代に於ては人間が機械を發明した本旨にもとつて、機械が人間を使ふのか人間が機械を使用するのか分らない有樣となつた。機械は勞働力を少くして多くの生産物を得るために發明せられたけれど、勞働力を賣つて生活なす勞働者は生活の安定が得られない。機械の發明に依り勞働者の能率は幾十倍幾百倍の增加を見たことであらふか。

例へば一本の縫針にしても昔しは一人の職人が終日働いて十本の生産しか出來なかつたものが、現今に於ては十人の職工が機械力を利用し針金を切斷する者は針金を切る、穴をあける者は穴をあけると云ふ、具合に分業の方法をもつて生産に從事すれば十人で二萬八千本の縫針を製産することが出來る。

即ち其能率に於て二百八十倍に上つて居るのである。

又綿絲にしても昔しは絲車で一本宛ぶん〳〵と紡いで居たものである。現代に於ては幼き十四五歳の女工の手に依つて數百の綿絲を紡ぐことが出來るような時代となつた。能率に於ては三百倍四百倍の增進をなしておるのである。

都會の工場に働く女工が賃金を幾ら得ようが、如何なる勞働を强ひられて居らふが、農村の無産階級には何等關係が無いようなものであるが、日本の女工の數は約三百萬人其内農村出の子女が八割以上を占めて居ると思へば實に村の人にとつても重大な問題である。

併して大阪府下の某工場の一週間の食事表を左にあげてみる

	朝	晝	夕
月	澤庵大根汁	油味噌	ヒジキ澤庵
火	蕪菜汁	金時豆	豆腐汁同
水	澤庵菜汁	里芋澤庵	大根同
木	同梅干	數の子同	千切同
金	同大根汁	大根同	福神漬同
土	同梅干	豆腐汁同	大根同
日	同豆腐汁	干物同	千切同

併して飯は外米の麥飯牛肉とか生魚とかは例外で一週間に一二回各の如き粗食を强要せられて居る。山深き園田の娘達は三ヶ年の年期を五拾圓から百圓の小金で買はれて行く併して工場の勞働時間は一晝夜十二時間交代である。

四五年も紡績會社で働いたら紅顏の美少女も何時しか青白の結核患者となつて愴惶として村に歸つて來る、女工の足は俗に大根足と稱へて居る、終日立ちづくめの勞働のために水腫れて大根の如く足首も股も大きさが同じいようになる。

女工に一番多いのは消化器病と脚氣と感冒と肺結核とである紡績會社に立つ電柱にぶら下る綿絲三寸も五寸も下つて居る工場内にはより多くの綿塵が籠つて居る、女工の肺は實に綿塵の吸込器である。煉瓦工場の屋根には五分も七分も石粉が積つて居る。職工の肺の中は白壁が作られて居ることであらふ。

資本主義の社會では機械は資本家の專有するところとなり金儲けのためには、人間の生命迄日日と奪はれて行く、私はある陳列所で人間の耳の模型品を見たことがある、神經系統から鼓膜に至る迄非常に完備して居て精巧を究めたものであつた其時價二百八十圓とあつた。人間の耳の模型品が二百八十圓、併し乍ら模型の耳は音響を聞くことが出來ない。我々人間の耳は音響を聞くことが出來る。模型の耳でも二百八十圓するなれば人間の耳は二千八百圓出しても二萬八千圓出しても購ふことは出來ない貴重なるものである。併して人間には微妙な働をなす鼻口目あり魂あり理智あり認識がある。萬物の靈長である金錢や物質を以つて購ふことは出來ない、實に〳〵偉大なるものは人間である。

併し乍ら此の偉大なる人間も自由競爭と自由契約に禍ひせられた。現代は自由競爭と自由契

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

約の世の中で人を雇ふも人に雇はるゝも自由である、契約も自由である。

國法として勞働者の最低賃金の保證さえない、機械が發明せられ勞働者の勞力が餘り失業者が世の中に簇出する。資本家は多くの失業者の群より、一番よく自己の爲に利益を齎らしてくれる勞働者一番賃金を安く働いてくれる勞働者を選んで雇用する。勞働者は一日たりとも働かなければ明日のパンに饑へなければならない。勞働者自身のみならず、一度失業の憂目を見れば家に殘る妻や子は飢餓に泣かなければならない、人間は此の世の中に何をなすべく生れ出たのであらふか人生々存の意義も解らない、唯牛馬の如く忙しく働いて食事をして子供を生んで機械の如く機械と共に働いて三十歳四十歳で早逝する、資本家は資本家で自由競爭の美名のもとに優勝劣負弱肉强食をくり返して居る。

小資本家は大資本には勝てない資本の少い資本家は工場も機械も精巧なものを得ることは出來ない、即さ小量生産しか出來ないため利潤が少い、大資本家の大量生産には勝てない人間は勞働力を併び機械を發明したが機械は社會人の機械とならずして一部の資本家の專有することゝなつた、自由契約と自由競爭のために最低賃金で最大能率を發揮なし貨物はどう〳〵と市場に流れた。そして人間の勞働力に剩餘が出來た失業者はいよいよ多きを加へた實に勞働者の生活は慘めである。

併し資本主義社會では儲けさへすれば如何なる手段を取つても如何に民衆には不必要なものでも生産することを惜しまない。

民衆には不必要な多くの贅澤品は生産せられて市場に山をなす、ダイヤの指輪もルビーの飾物等を求めんため無産階級は解放運動を叫んで居るのではない、明日のパンを稼んための叫びである、食ふか喰はずして餓死するかの生命維持人間生存權確立の運動である。

見よ村の百姓の作つた米を食べて町の職工は資本家や地主が春は花見遊山、夏は避暑、秋は紅葉狩り冬は温泉と遊び廻る自動車を作るべく、十二時間の勞働を强要せられて居る。塵芥の立籠る工場で朝薄暗きより働く女工も藉煙の中にてハンマーを握る勞働者も毒瓦斯の籠る炭坑でツルハシを握る炭坑夫も八割以上は村から出たる小作人の子弟である。此處に其實例をあぐれば僕のよく運動に行く山陰の石州地方小作農村の若者は春より秋の收穫迄朝は暗きより夜は八時過ぎ迄即星を頭べに頂く迄働いても一家の生計が保てない爲に秋の收穫が終つてから冬期は三ケ月四ケ月と契約をなし九州の炭坑に働れに出てゐるのである。

村の老人曰く「今の世の中は文明とか文化の世だとか云ひますが昔しの時代の生活が幾等良かつたか知れませぬ、昔しは年貢米さえ支拂へば税金もゐらない、若者を炭坑に迄行かせなくても呑氣に其日が過せたものであります。昔しは村の休日や祭日もゆつくりと遊んだもので す。然るに現今は村の祭日でさえゆつくりと遊んでは居られない」と實に現代に於ては村の地主の搾取に耐へられないで都會に逃げ出した農村の青少年は地主が小作米を賣却なし株券を求めた會社で再び搾取の憂目にあえいで居る、即農民運動は單なる地主、小作の爭議に非ず都會の勞働者と手を握り共に〳〵階級戰線に參加し、社會制度の改革迄進まなければならない。

此社會制度の改革即よりよき社會の實現は資本家の手に依つて動く政治家も其政治家の顧問となつてパンを得る學者も我々は期待することは出來ない。我々は自己の足に依つて身體を支へて居るが如く自己の手に依つて境遇を同じくし階級を同じくしたる者が一致隣保大同團結したる時に始めて成るのである。

その大任は英國に於て一番多數を占め一番虐げられし炭坑夫が全英勞働者組合を動しゼネラルストライキを起したるが如く、我日本に於て無産者解放運動のキャチングポートを握る者は日本の無産者の過半を占める農村青年の双肩にあるのではないか。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

鐵拳錄

△何か事ある毎に街頭に出しやばつて、道行く者に押賣りする復興債券一枚の額面金額は五圓で、それに抽籤で割増金といふのが附く。この復興債券の總額は二億圓で、既に第五回目を終つて、第六回目も近く終了するらしい。今回のは五圓債券二百萬枚即ち壹千萬圓の募集だ。この壹千萬圓の金を搾り取らうと目差されてゐるのが、吾等無産階級の連中なのだ。即ち震災地復興、農村振興をモットーにして、東京の裏長屋のカミさんや、田舍の百姓女房の大切の大切のヘソクリ金の五圓を、割増金附と云ふ嘘八百の題目で釣らうといふのが、復興債券賣出しの魂膽だ。

△そこでこの復興債券の總額金二億圓也が集つたとして、肝心の日本勸業銀行が、この金を何うするかが、吾等の興味を持つ所なのだが、この二億圓也は極めて便利で、資本家共の復興事業とやらに貸し出される。即ち吾等貧乏人から絞り上げた、大枚金五圓の集つた總額二億圓也が、資本家共の金儲け即ち吾等貧乏人イジメの仕事に使はれるのだ。成程、震災地復興、農村振興には相違なからうが、それは震災地や農村の資本家共の復興であり振興なのだ。吾等貧乏人には、糸一筋程の關係すらもない。

△そこで籤に當つて割増金の千五百圓とやらの欲しさに、慾の皮を突張らせて、亭主に内秘の金五圓也で復興債券を買つたとする。ところで額面金五圓也の債券は、第一回抽籤後は四圓に暴落する。即ち債券を買つて持つて居ると、二ヶ月後にに二割の損をする譯だ。

△所で日本政府の發行にかゝる四分利附額面百圓の公債の、現在の賣り値は七十五圓餘であるから、四分利附五圓債券は、三圓七十錢餘である。すると日本勸業銀行發行の五圓の復興債券の、現在の賣り値はどんなものだらうかと云ふと、政府發行のものさへ、額面五圓が三圓七十錢餘であるから、それよりも信用の薄い私立銀行の、五圓債券はまづ三圓五十錢位が至當であらう。即ち一圓五十錢の差額を生じて、日本勸業銀行は債券一枚に就て一圓五十錢、二百萬枚に就て三百萬圓を、吾等無産階級から詐取してゐるやうなものである。すると總額の二億圓では六千萬圓を、無産階級のヘソクリ金から搾つて、資本家共の御用を足すと同時に、自分も腹を肥してゐる次第だ。

△然し茲で當籤の割増金が、幾許になるかと調べて見る。第一回の割増金は三十八萬圓であつて、之れを債券一枚當りにすると、一枚に就て金十九錢の割になる。

△そこで話が一寸前に戻つて、金額面五圓の復興債券の時價、三圓五十錢に、この割増金十九錢を加へて三圓六十九錢、之れが抽籤前の復興債券の眞價だ。この三圓六十九錢の眞價のものを、勸業銀行は五圓の價値ありと稱して押賣りするのだ。

△即ち復興債券總額二億圓の内から、五千二百八十萬圓と云ふ大金を、日本勸業銀行は無産階級から搾つてゐる。

△茲に資本主義の『からくり』を見ることが出來る。無産階級は駄目だ。昔、朝鮮人參の賣り値が下がると云ふので、あの高價な朝鮮人參を、山のやうに積み上げて、仁川とかで燒棄した事實がある。

△佛蘭西の社會主義者フーリエが、社會主義者になつた原因は、當時佛蘭西では小麥の値が騰貴して、細民はパンを食ふに困つてゐたのに、フーリエの父親である小麥商で、フーリエに命じて、折角積んで來た小麥袋を船中から、海に棄てさせたのが原因となつて、フーリエは父に背いて斷然、社會主義の道を歩んだと云ふ話は、餘りに有名な話であるが、吾等無産階級も、仁川阜頭の人參燒却事件、米騷動直後に東神倉庫の腐り米事件、其他等々と無數にあるが、今度の復興債券賣り出しの魂膽にも、資本主義の『からくり』が、如何に巧妙に作用してゐるかを見よ、と叫び度いのだ。

△要心せよ！ 資本家は吾等無産階級のヘソクリ金から、金五千二百八十萬圓を搾取せんとしてゐることを。（レワ）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無產階級法律問題

布施辰治

（問）作業中に於ける警察官の面會强要は拒絶して良いか。──其の爲に損害が起つたら賠償の要求が出來るか。──

（答）

（一）

總ての人が其の喜びを頒つ爲か、若しくは樂しみを偕にする爲のみに訪れる理想社會であつたら、面會を拒絶するの拒絶しやうといふ筈はないが、人を欺す爲か、嫌がらせる爲か、苦しめる爲か、乃至は痛くない腹を探る爲か、寃の罪で引ばる爲か？金力と權力に狂醉して居る奴輩が、横行して居る現代に於ては、私共にそうした奴輩の訪問を拒絶したり、面會を回避したりする丈けの自由が保障されなければならない。

左樣した意味で、現代相應の自由を保障する憲法では『日本臣民たる者の住居に其の許諾なくして侵入訪問せらるる事は無い』と規定し又、『法律の規定に依るに非ずして面會强要の訊問逮捕を受くる事は無い』と云ふて居る、そして苟くも斯うして憲法の自由保障を蹂躙する家宅侵入訪問者には、刑法に於て三年以下の懲役を擬して居るし、不當の訊問逮捕には五年の懲役を擬し、嫌だと云ふ者に無理に面會を求めた丈けでも、警察犯處罰令で拘留三十日を擬して居る、故に、私共の憲法で保障せられた自由として、嫌なものゝ訪問や侵入を拒絶したり面會訊問を回避したりする權利は相當に强い、そして斯うした私共の權利を行使する上に一般人と警察官吏との區別はない。否寧ろ今日の警察官吏が、動々もすれば職權を濫用して、面會を强要したり、住宅に侵入したり、する危險の多い點に於て、私共の憲法で保障せられた自由權の行使が、彼等警察官に對して特に强からしむるを得ない、と同時に彼等警察官にして之を侵すものがあつたら、其の處罰も亦自ら重からざるを得ない、之れ裁判實際の取扱ひである。

（二）

以上、一般的に解説した私共の嫌なものに面會を求められて、之を拒絶する自由は本質問の工場作業中に於て、一段の强さを增すべきものである事は、工場法の精神から觀た作業時間と休養時間との峻別及工場共通の内規たる作業中面會謝絶の掲示に依つて明かである。

一體工場に於ける勞働者の作業は神聖であつて何人も之を侵す事を許さない。最も精巧な氣分の緊張を要する作業であつたら、其の作業の進行を妨げるものに對しては、作業即人格、人格即精神、精神即生命の生命的正當防衛權を行使してもいゝ位に神聖なものであつて、彼等官憲者流の公務執行妨害罪と相並んで、勞働者の作業妨害罪を規定すべき性質のものであるが。今は、左樣した法律が無いから、假に其處迄の作業神聖を主張する事が出來ないとしても、出來高賃銀制度に於ける作業は作業即ち生活の問題であるから、何人よりも之を妨げらるべきでは無い、若し强いて之を妨げるものがあつたら立派な營業妨害である、──法律上から觀た營業は商賣のみに限らず、生活の爲の仕事即生業といふ事になつて居る──故に警察官吏が工場作業中の勞働者に對して面會を求めて來ても、作業の都合上なり、其の時の氣分なりで面會する事が嫌だつたら斷然拒絶して宜しい。如何に彼等警察官吏が其の面會を强要しても警察官吏の職務執行上、現行犯の逮捕か裁判所から出た令狀を以て訊問する權限を明かにした上の面會强要でなかつたら、如何に手非道く其の面會强要を拒絶しても差支ない。何故なら面會の强要は自からの訊問を意味する事になるのであるが、前にも一言してある通り、私共は不完全乍らも現在の憲法に於て「法律に依る事なくして訊問を受けざるの權利」があるからである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

更らに、之を工場法の精神から觀た作業時間の嚴守は自ら作業中の他人面會の怠業を愼む意味に於ても、必要なき任意面會要求を拒むのが當然である、と同時に、如何なる工場でも作業中の面會謝絶を掲示しない工場がない點に於て、之を守る爲にも不必要な警察官吏の面會强要を拒絶するのが當然の權利でもあれば、又義務でもあると考へる。

（三）

其處で問題は質問の第二に這入るのであるが警察官吏の執拗な面會强要を拒絶し得ず、會つて見た上で、其れが全然無用な面會であり、且つ其の面會强要の理由が虚僞であつたとするならば其の爲に作業を中止した出來高賃金の損害、或は工場主からの面會中の怠業時間給控除の損害は勿論、其の結果一年の作業成績に關係する樣な事があつたら、それが警察官吏不當面會强要の爲だといふ立證の出來る限り、其の警察官吏に對して其の損害賠償を要求する事が出來る、更らに、其れが上長警察官憲の命令に出でたものだといふ聯絡さへも判れば、其の上長警察官憲に對しても亦損害賠償を要求する事が出來る。

其の理由は民法の損害賠償に關する規定は、苟くも故意又は過失に依つて他人に損害を被らしめた者は必ず其の損害を賠償しなければならない義務を命じて居る、と同時に、他人の故意又は過失に依りて損害を與へられた者は、必ず其の損害賠償を要求する權利を與へられて居ることが明かだからである、念の爲に以上解説した理論を質問の場合に當嵌めて見ると、必要のない面會を虚僞の理由で强要して作業中の勞動者に面會中の作業中止に依る損害を與へた警察官吏は、故意を以て勞働者に損害を被らしめたものである、事實上法理上の關係が極めて明瞭であつて一點の疑を存しない、と信んずるからである。

「御多忙でしよう」
「生きてゐるから仕事はシカタがない」
と云はれる布施サン、東奔西走を文字通りに實行せられ、その中にあつて、毎度原稿を下さることは、讀者と共に感謝に耐えない。

失業

渡部あきら

ひもじさをあざけりながら
うまうまとむさぼり喰つた
五錢の燒芋

○

旅に來て
旅の情に捨てられて
友は故鄕へまた歸へるのか

○

日暮まで職を探れて甲斐もなく
都大路を泣きながら來た

○

同等に生きる權利を主張した
爭論の末の
解雇辭令だ

○

夜の二時出てゆけがしにあしらつた
今も忘れぬ
平瀨の言葉

○

よし、俺を追ひ出さうとも
よつく聞け
平瀨、俺に〻血は眞紅だぞ

○

さいなまれしひたげられて
ブルヂョアの餌食となるのが
プロの運命か

○

起てよ友
　この赤旗が破れても
いざいざ赤い血のつきるまで

―余の「人生行路」より―

焰は搖れる

長田滋利

陰慘と憂欝の暗い隅に
力なく生活の焰は搖れる
感情を燃やし
血を燃やし

　憤激の焰
　呪ひの焰
　反逆の焰
　憎惡の焰

復讐――突貫
湧きあがる生命の飛躍の前に
喘ぎ　喘ぎ
正義の焰は
淋しく搖れる。

○

野の遠く沈む夕陽の
赤々と
火の如きかな
血の如きかな。

○

酒呑めば涙流して
身の上話し
語る男あり
二十九といひし。

○

まで
俺にはたゞ一つの使命があるんだ
それは
この生命を投げ出す事だ
それまで
生きてゐなければならない
石にかじりついても。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

都會に於ける「自由勞働」と組合運動（二）

加藤利藏

(3) 「自由勞働」者の三類別

甲の部に屬する自由勞働者の殆んどが、自己の屬する階級的存在を眞劍に意識した、鬪爭的氣分の滿々たる人々のみで（又如斯き人々のみなるが故に本文の當初に甲の部として分類した）常に請負業者や人夫屋達—即ち雇主階級が勞働者に臨むに冷酷暴慢なる專横の行爲を以てするに對して内心極度の反情を抱き、事毎に反抗的情念を昂めて行く結果、此等人夫屋請負業の横行を公認し、一面から觀るときには、總ての場合、此等憎むべき雇主達の跳梁を公然擁護し、助勢してゐるかの感有る資本主義社會の支配的權力を怨嗟する反逆的血汐を熾烈に燃えたゝしめてゐる。

これと反對に、乙の部に屬する勞働者の過般は、貪婪飽くを知らざる請負業者、人夫屋達にとつては搾取的好餌の此の上ない人物揃ひで、此等飢狼に等しい雇主階級の私腹を肥す剩餘の生産に渾身の勞働を力作する。（錯覺的意識の下に）彼等飢狼をして言はしむれば、彼等の爲めには、實に忠實勤勉の善良なる勞働者のみで有る、然して此の善良にして忠實勤勉なる勞働者を、煩雜に流れるの嫌ひは有るが、それが色分を左に二三評出して見るに、先づ、何等の自覺もなく、唯衝動の儘に僅に與へられたる自前の淡い享樂を趁ふて、勞働宿泊所か人夫部屋か木賃住まいより、必然辿り着くべき老衰後には養育院行きか監獄行きか、野倒れ死にか、何れかの途に窮死せしめらるべき悲慘なる運命に社會的に葬り去られ逝く多くの人々と「苦學の爲めとか」「一時何んとかなる迄でとか」云ふ不徹底な妄想に追われて、功利的な僥倖を將來に夢想して、現在自己の生活其の物となつてゐる「勞働」に對する眞劍な生活意識も把持する事の出來ぬ、又せうとも勉めないヒヨロ〳〵勞働者の殆んど、永年地方に在つて屈從卑屈の惡風に重習され、農閑期の小使とりに「イクラ」でもを當て込んで、さなきだに供給過剩の失業難に喘ゑぐ、都會へ〳〵と蝟集する農村出の勞働者が、屈强なる體力を、人夫屋請負業の飢狼群の前に提供し、これ等飢狼の毒牙の引裂く儘に渾身の勞働を惜し氣もなく力作しつゝ「イクラ安い賃銀でゝも雇ふて働かして呉れる人々は俺達にとつては大切な生活の擁護者だ」など錯覺的生活意識の圏内に蠢動してゐる多くの所謂善良なる勞働者と、多少の自覺もないではないが、性格的に意志が薄弱な爲めか、境遇的に去勢されてゐる爲めにか、口言はんと欲する事も云い得ず、何も彼もせう事なしの諦め主義で、去勢された馬の様に、刻薄なる被搾取被虐の境遇裡に假死的蠕動をしてゐる勞働者の多くが此の乙の部に屬する。

然して右に述べた甲乙二者を彼等飢狼連の前に並列せしめ、さて孰れを選ぶべきかを問はゞ、言ふ迄でもなく彼等は前者をさらずして後者を選ぶで有らう事は明瞭過ぎる程明瞭の事に屬する。

今茲に右に述べた雇主達の甲乙二者撰擇にはまつる著しい醜例を少しく述べて見る、夫は勞働界の年中行事になつてゐるかの感有る歳々年々都會に住む日傭勞働者より魔のシズーンの如くに怖れられてゐる勞働狀態の季節的霜枯れ時に、失業勞働者巷に溢ふるゝのとき、極部分的な現象では有るが、請負業者や人夫屋達の配下に屬する、若くは彼等の經營する人夫部屋に寄寓する部屋人夫達が（乙の部に屬する）食に飢ゑ、職を求めて街頭に彷徨する許多のアブレ勞働者を、恰も嗤笑ふもの〻如く晝夜兼行の小間割り仕事に忙殺されてゐる失業シーズンに反比例な奇現象が尠なからず行人の注目を牽き、アブレ勞働者に痛々しい羨望の衝動を與へ、遣る方なき忿怨の情を唆らしてゐる

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

事實が存する。

然して此等部屋人夫の殆んどが農村出の出稼ぎ勞働者と鮮人勞働者とによつて占められてゐる點に問題の焦點が潛む。

此の點に關して彼等雇主逹の言ひ分を聽いて見るに、彼等は即ち右の如くに答へてゐる。

一、永年都會に住む勞働者の體質は其の九分通り迄で、農村出の勞働者及び鮮人勞働者の體質に比べて甚だしく劣つてゐる、由來自由勞働者の雇用を必要とする事業は言ふ迄もなく、筋肉的力作の生產的能力に主要の目的を置き、我々雇主の希望としては其れが生產的能力の少しにても多からん事を第一とする。

然して其れが勞働能力の優劣と、勞働者各個の體質の强弱は直に「强」と「優」「弱」と「劣」と正比例して來る、故に雇主たる我々が、勞働者を雇用せんとするときに當つて、虛弱なる體質の勞働者を雇用するよりも、屈强なる體質の勞働者を撰ばんとするは、我々としては當然の事で有る。

二、農村出の勞働者若くは鮮人勞働者の大部分は、低廉なる勞銀に安んじて精一杯の勞働能力を力作するに引き換へ、都會に永住する勞働者の多くは、前者の從業中に於ける業務に對する忠實勤勉の行爲に比較するときは、前者の勞働能力の半量をも力作せず、のみならず、常に勞働時間の短縮とか、賃銀に關する不平とかのみを口にして、折角仕事を與へてやつてそれ等勞働者の生活を保證してやつてゐる我々雇主階級を敵視するかの傾向が視える。

それぱかりではなく鮮人勞働者及農村出の勞働者は從事する業務に永續性を持つてゐるが、都會に永住する勞働者にはそれが缺けてゐる。即ち起工事業の見積り上から一定の期間內使用する人員を幾人と定め、其の期間內に使用すべき勞働者と雇用契約をして（都會に住む勞働者中特に甲の部に屬する勞働者を雇用した場合）愈々事業を開始する內に、彼等に特有の怠惰性、放縱性の然らしむる者有つてか、該期間中に突然尻割り（雇主に無斷で契約を破棄して他に轉業する者）をする者が出來たり、業務に對する責任と云ふやうな事は少しも考慮せず、勝手な私用で勤務を休む者が出來たりして事業の進行上に意外の支障を來たす場合が有つて、經濟的な損失、或は請負業者としての信用の毀損と云ふやうな迷惑を感ずる場合が尠くない。

故に我々は、總ての場合斯うした部類に屬する勞働者を雇用せず、なるべく性行忠實勤勉にして屈强なる體質の勞働者、即ち農村よりの出稼勞働者か鮮人勞働者を雇用する方針をとつてゐる。』と。

これは無論、彼等雇主逹の立場に立つて考へる時には、彼等が甲乙二者を選ぶに際して一方を歡迎し、一方を擯斥嫌厭せんとする傾向の存するは彼等雇主逹にとつては、經濟的にも（彼等の）又は感情的にも、又は彼等が社會的存在の必要上からも蓋し當然の事で有らう。

然し乍ら、これは雇主丈けにとつての當然な事であつて、我々勞働者にとつては實に許すべからざる罪惡で有る——と云ふ事は、斯うした罪惡を完全に遂行せん爲めに存する「請負制度」なるものを存在せしめてゐる、或は掩護してゐるかの感有る現在社會の狀勢を、正しい見方から眺めんとする人には直に點頭かれるものが有らう、

それから自由勞働者が從業中の業務に對する永續性の有無云々の項に、甲乙二者の對比として、雇主逹の言ひ分として述べた點に關して、勞働者の立場から——勞働者それ自身の當然の主張として述べねばならぬ點に付て少しく述べねばならない。

（未完）

地獄の底

失業問題は今や社會の根柢を脅かしてゐる。資本家のロック・アウトの度びに、勞働爭議の起る度びに、街頭へ投げ出される勞働者の數は、少くも幾十人多くは幾百人を算へられる。ロシアを除いては、英米佛、チエツスロバキヤなど、失業に關する法律は制定はされてゐるけれど、それは單に名目だけで、一度び失業したら又と再び浮び上れるものではない。此處にや夜もなし晝もなし、一度落ちたら地獄の底よ……と唄つてゐる街頭のあのヴアキオリンの音を聞け。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

プロレタリアートとブルジョアジー

梅津四郎

一

プロレタリアートとブルジョアジーとは無產階級及有產階級の意である。然らば嚴密の意味に於て此の無產階級及有產階級は何によつて區別するかと言へば甚だ困難なる問題であるがマルクス主義學說に於ては、資本主義經濟制度の社會に於て勞力により生み出す價値を搾取する階級所謂搾取階級と搾取される階級被搾取階級を言い得ると思ふ。別の言ひ方に於て言ふならば勞力によりて生活の資を得る者の集團を無產階級と言ひ、勞力をはらわずして財產の利子(不勞所得)によりて生活を保證されて居る者の集團を有產階級と言ふ。故に資本主義社會に於てはプロレタリヤとブルジョアの二階級より外に存在しない事になる。然らば經濟的に此の二階級の境界線上にある者等つまりブルジョアジーとプロレタリアートとを區別する堺目附近を彷徨する階級はブルジョアジーに附するか? プロレタリアートに屬するか? 此の所を現實にあてはめて突き進んで考へる時に實に區別し得ない苦を感ずるのである。例を擧げて言ふならば大工場の工場長は其の會社の一株主であり、配當を得て居ると同時に又一社員として勞力を提供し配當と同等額の給料(賃金)を得て居る時に於て、其の何れに屬す可きであるか? イデオロギーを分解して言ふならば、つまり彼等の把持する思想を以つて言ふならば、キャピタリズムを擁護する純然たるブルジョアジーであらうが物質上の嚴密の意味から言ふならば甚だ難解なものである。たゞ幸な事には斯の如き種類の者は社會的に見て甚だ少數であり、資本主義經濟制度が進展し行くにつれ、何れかの階級に抱擁せらるゝ運命にあると同時に其の數の減ずることであり、主にプロレタリアートに附隨せらるゝと言ふのがマルクスの學說である。

二

有產階級の中にも大別して金融資本家と企業資本家とある如く無產階級の中にも肉體勞働者と精神勞働者、獨立勞働者と雇傭勞働者等がある。此の金融資本家とは工場等を經營する企業資本家等に金を融通する銀行業を言ふのであつて資本主義經濟を發展させたものは主に此の階級であると同時に又崩壞作用を無意識的に自ら行ひつゝあるものも此の階級である。然してブルジョアジー仲間に於て偉大なる勢力を把持すると同時に權力の所有者である。我國に於ても大倉、三井、安田等は企業家と言ふよりもむしろ金融資本家である。資本主義經濟が行詰るに從つて之等金融資本家は企業の合同を行いおのが掌中に把握して一大ブルジョアジーの城壁を築きつゝあり、プロレタリアートとの溝を深めつゝある。

　無產階級中に於ける精神勞働者(主にサラリーマン)及獨立勞働者(小作人、車夫)等も資本主義經濟の行き詰るに從いおのが生活も年々行詰りで肉體的勞働者と何等異る所無き迄に行詰りつゝある。

　そこに於て自覺したる勞働者は勞働組合を小作人は農民組合を作りてブルジョアジーの城壁にあたらんとする運動を起しブルジョア階級とプロレタリア階級の陣營が判然とし×××。

首相の名言

ある場所の招待會の席上で、若槻首相立つて話すことには「現在の新聞紙は餘り數が多過ぎる。既に新聞の食傷をしてゐる上に、尙ほこの上出されては堪らぬ」と。誠に然りだ。ブルジョア新聞は、ブルジョア政府の大臣にすら、厄介がられてゐる。況んやプロに於ては勿論だ。所が之れに喝采したブル新聞の販賣やがあるのだ。ブル新聞製造やさん、これは何うしたものですかな。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

直譯的枝葉思想の放棄

吉田榮吉

一

思想進歩の初期に於ては直譯思想の丸呑み素より必要であるが、既に直譯すべき根幹的思想なく唯單に枝葉に於てのみ重箱の隅を楊子でセセル様な研究を味ふ時代に至つては、一部此種の學究者は暫く置き、思想の根幹を把んで之れを實際に適合せしめ邁進せむとするものにあつては既に行詰れる直譯思想の枝葉を一先づ放棄して更に眼前の事實について深く考へねばなるまい。

吾人は素よりマルクスの學説を推稱し信奉するものであるが之が枝葉に淫する事は避けたいと思ふ。

二

マルクス學説の根强さは、そが科學に立脚せることにある：：科學それは數多の錯雜混亂せる事物現象を捕へ來つて此錯雜混亂せる中から其眞髓を貫くところの基本線を引出す事である、例へば海上の波浪を捕へ來つて科學者は之れをコロサイド波線なる單純基本線の形に置く、又眞空管中に物體を落下せしめて地球表面の引力が九八〇ダインである事を物體落下の方程式で與へて居る。

三

此コロサイド波線と物體落下とは誠に波と地球引力の基本をなすものではあるが、又之れなくしては二進も三進も出來ない程大事なものではあるが然し考へねばならない。

もし船を運轉する船長が、波の基本線はコロサイト曲線であることゝ其高等數學的分類とだけを熱心に研究し、知つて居たとしたら、そして又之れを其まゝ應用するとしたら、どうだらう、恐らく船は難破する外あるまい、何故なら實際の場合に於て科學者の示す基本波たるコロサイド波は何處を探しても一つもないのだから、實際の波濤は、海岸線の關係、反動波との關係、風の方向、潮流、潮の滿干、海の深淺等によつて誠に歌の文句の如く、男浪女浪の寄せては返し千差萬別である、そして良船長若くは一丁の櫓櫂よく波濤を乘り切る老練な船頭に至つては「コロサイド線糞喰へ」で唯燈臺に輝く一道の光明を賴りに巧みに切り拔ける。

又物體落下の方則と、火藥の爆發力と、施條による彈丸の廻轉力と空氣の抵抗とでデッチ上げた彈道學の學者は決して良射手ではない、否吾々の聞くところによれば下手な彈道學を論議する奴に限つて皆射的は下手糞であるとの事だ、之れも海波の場合と同じく實際の場合には基本たる彈道學以外に、風、光線、地域の狀態、銃のクセ、によつて理屈通り問屋でおろして呉れないためである。

だが如何なる錯雜せる波も、如何なる複雜な彈道もそれがコロサイド線と拋物線によつて基本をなして居ることは否定する事の出來ない事實である、ただその名射手、名船長たる所以はその基本線を現實にピッタリと適合せしめ更に一歩進んではコロサイド線たる科學と、現實の波濤と、船と、自我とを合一したる、一の藝術化的三昧境にあり得るとき、船の運用は最も精妙なり得るであらう。

四

私はマルクスの學説を一の基本線と觀る、而してマルクス自身が又之れを一の基本線となし別に黨宣言において「現實」を說いて居る、私はマルクスの單なる机上の學究以外の偉大さを此處に見出す。

吾々は既に基本線の大體を知り得た……科學の原理は一言にして盡せる程の簡單なのだ……今や世界特有の封建的心的惰性たるドラギシズムが出たり、赤垣準藏德利のわかれで阿兄連を泣しめたり、今頃なぞを喚んで見たり、ブルジョア、デモの皆無であるにもかゝはらず、既に經濟的行詰の結果を來したりして居る此特異國に於て吾々は最早、直譯的枝葉思想を去つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て自ら銃を採り標的を確實に睨んで立つべき立場にある風の方向、光線、銃の偏避、地域の狀況、銃の反動等皆射手の技倆の中に入りこむ、彈道學の原理と應用の基本と、標的とを我々に敎へた偉人は、天の一角にあつて此絶東の○○國におけるプロが彼の學說を「如何に現實に使用して誤りなきか」を睨んで居るであらう。

近時街頭に於て勞働者が角帽相手に直譯の枝葉を論じて昂然たるものを見る、論ずるもよからう、だがプロは鬪爭場裡に於て、各自が「彈道學の泰斗」たるよりも「名射手」たる事が必要であることを忘れてはいけない。

イン・プ・レコ

正しい報導事實の報告

（通信網を持たないために新聞報導より遲いとは云へ）

ラトビヤ

◇

マルキシストとして又プロ作家として知られてゐたゴリアッ氏は市民農民の聯盟を企てたかどにより、妻と共に去る一月二十九日銃殺された。氏は「勞働者と農民」といふ雜誌を出して居た。

◇

一九二五年に於ける罷業統計（政府報導による）

罷業數　五三（この事實に關係ある勞働者の數四六二九）

罷業者數　三二二四

結果　一四　勞働者成功

二四　一部讓歩

一五　失敗

ブルガリヤ

◇

一九二三年九月のシュムラに於ける反亂の判決（昨年十一月二十五日）

死刑　六　終身　八

十五年　八　十年　六

八年以下　五〇

ポーランド

◇

カリスシに失業者の反亂

二月九日失業者は市廳に參集して職と食を要求した。市政者等は近い日にこれが調査を聲明したが前にもこれを云はれた失業者達は散會せず、廳舍に侵入して、市長を毆打し取鎭めにかけつけた警官に石をなげつけた。この騷ぎに勞働者二十六名（內六名重傷）兵士三名、警官三名の負傷者を出した。

翌日失業者は又押よせたので警官は發砲してこれを追散した。このため勞働者は又四名傷ついた。

三月十五日ルォウの軍法會議に於いてミコライ・フラスといふ兵士は銃殺を宣告された。彼は營內にあつて共產主義印刷物を配布し、兵士の騷亂をセン動した廉による。

オーストリヤ

◇

プロレタリヤ放送局

ウキンに、ドイツ・オーストリヤの勞働者によつて組織された放送局がある、放送は每日曜午前とし、獨、露、英、佛、エスペラントの五つの言葉で放送し、各國の勞働者が聞ける樣にして居る。

ドイツ

◇

ダルムスタット市（ヘンセン州の首府）

三月八日失業者の示威運動をおこそうとしたが、內務大臣はこれを禁止し、尙違反者にそなへるため、警官、護衛兵に出動を命じ、裝甲自働車までもち出して威壓を加へた

（十六頁より續く）

反動を擊つ

農村の機械化も、人間社會の一部として、この世に農村が存在する限りは、如何に土の愛好者が復古を夢みるとも、その夢想には頓着なく、農村の資本主義化は着々として行はれるであらう。

斯くして都會と農村とは同じく二大分野即ちブルジョアジイとプロレタリアートの二階級二大陣營に分裂する。この時、始めて農村と都會との緊密が始まる。

そしてサア××だ、××だ。

農村の小作人諸君、プロレタリア諸君。決して彼等精神運動者に欺かれるな。彼等の語は吾等プロレタリアには、××意志を去勢する亞片だ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

反動を撃つ

＝「土」の精神運動者の迷蒙＝

（一）

最近、頻りに耳にする語は、農村と都會の離反、都會による農村の搾取などと云ふ語である。この思想を基礎にして生れたものが、土の精神とか、土の藝術とか云ふ所謂『土に復れ』との叫びである。

これは室伏高信氏あたりから高唱され出したもので、室伏氏より先に石川三四郎氏等も早くから、土民生活と云ふ事を說いてゐられた。最近には、加藤一夫氏も土への復歸を唱へられてゐるやうである。この土の精神運動は多くアナキストの人達――特に宗教的なアナキストの人達――から言はれてゐる。そしてこの人達は現代の物質文明、機械文明を呪咀して古代の共產的無政府主義に擄られてゐるやうである。そして、室伏氏と云ひ石川氏と云ひ加藤氏と云ひ、悉くマルキシズムに徹底的に反對せられてゐる。

この土への復歸主義者にとつては、農村の電化と云ふ如きことは、恐らく許す可らざる大地への反逆とも考へられる事だらう。それは農村の資本主義化であつて、農村の傳統を破壞し、農村を荒廢に陷れ、農民を流離の巷に追ひやるからであると考へられるだらう。そして都會による農村の搾取、農村と都會との離反等々の語が、多くの土の精神運動者の口から出る源因となる。

私は一應は之等の人達を受入れはする。然し今日叢出してゐる土の精神運動者の多くは、外面は如何にも進步的らしく見えて、その內容は頗る反動的であることを見遁すわけには行かない。

何故かなら、土への復歸運動を說く連中の多くは、何故に農村が漸次に荒廢して行くか、何故に都會と農村とが背反しなければならぬやうな、社會組織に置かれてゐるのかと云ふ如き、最後の源因を問題外に逸して、何時も農民と都會勞働者との生活樣式の相違とか、物價の關係に於て農民は常に廉價に生產物を都會に賣つて、都會からは高價な加工品を買ふ可く强いられてゐるとか、都會民と農民とは感情に於て始んど、永久的に沒交涉であるとか云つて、同じきプロレタリア階級であることを拒否して、眞のプロレタリア、眞の搾取民は自分達農民だけで、都會のプロレタリアと稱する都會勞働者は、自分達農民を搾取する階級だと說いてゐる。

然しこれは明かに反動思想である。

（二）

成程、一般的に都會と農村との關係を觀る時には、如何にも農村と都會との離反、都會による農村の搾取と見られさうに思はれる。然し農村の生產品を廉價に買ひ込む者は、都會のブルジョア階級であつて、プロレタリア階級ではない。都會の加工品を農村に賣り附けて利潤を獲得するものは、都會のブルジョア資本家であつて、都會の生產勞働者では決してない筈だ。卽ち都會が農村を搾取すると云ふ語の內容は、都會のブルジョアジイが農村のプロレタリアを搾取すると云ふ事であつて、それは決しし、都會のプロレタリアと農村のプロレタリアとの關係ではない。

米が安くなつて喜ぶのは成程都會居住者であらうが、農村プロレタリアにとつても、それは決して悲しむ可き現象とはならぬ。寧ろ都會のプロレタリア同樣に喜んでもいい事なのである。何故なら、豊作に依つて年貢米以外に、自家用の米を潤澤に持ち得た小作人は、兇作に依つて年貢米以外に自家用の米を僅かしか持ち得ぬ小作人よりも、生活は遙かに安易であるからである。豊作によつて米價低落して困るのは、地主階級のみである。この地主階級にとつては、之れは正に都會と農村の離反であり、都會が農村を搾取したことゝなるであらう。

これが反動思想でなくて、何が反動思想であるか。

農村の資本主義化、都會化の原因を、單に都會生活者の責任にする、土の精神運動者の亞流の徒の、認識不足をも私は嗤笑したく思ふ。彼等は資本主義の必然の進化を知らないやうだ。家內工業の知き小量生產を滅ぼした。資本主義經濟の根本を爲す所の、大量生產――工業生產が如何に人類進化の道程に於ける必然であるかを考へない。そして單純な原始的な時代遲れの農業經營形式を提げて、資本主義に刄向はんとして、土の精神運動などと云ふ如き、悲鳴を擧げてゐる。鋼鐵の如き資本主義經濟組織に刄向つて、泡の如き精神運動を以てする以上、それは哀れなる悲鳴に終始せざるを得ないではないか。

要するに斯の如きは、○○運動からの逃避であるか、然らざれば認識不足から起る所の反動的思想に過ぎない。何故とならば、若し眞に○○運動の眞髓を把握して、資本主義經濟組織の如何に巧妙に、またその機關くりの如何に深刻なるかを、體驗したものならば、單に機械文明は人類を滅亡に導くものなるが故に、その文明に置換えるに農民文明を以てすると云ふが如き、漠然たる頗る抽象的なる、また神秘的に、また詩的なる語に快感を感じて留る如き、マスタベエションには陷らざる筈であるからである。

器械が人類の間に發明せられたのは、不可抗的の力であり、その發明せられた機械を人間生活に應用して、生活の向上進步を圖るもまた、不可抗的な必然の進步である。資本主義が今日の如くに、人間社會に發達したのも、これまた必然の勢ひであつて、昨日迄の人間社會は、この資本主義經濟組織の力に依つて、今日の人間社會が出現したのである。

（十五頁に返る）

病人を殺す醫者の話

關口熊吉

或る縣に大きな紡績會社がある。衞生設備その宜ろしきに叶はず、女工や男工の肺病に倒るゝもの其數幾百であるか知れない。ところが會社では、勞働組合に加入してゐない職工に限り病氣に倒れた者を施療で世話してやると云ふ、極めて不合理の温情政策を實行してゐる。西洋では組合に加入しない職工の事をカサカキと呼ぶのであるが、此會社ではカサカキに限り、無料で療治をしてやると云ふのである。

だが其施療の設備とて、金に制限があり、従て收容人員と收容期間に制限があるので、職務の爲めに倒れた職工達も、病氣なかばにして、療養所を追ひ出さるゝと云ふ、みじめさを背めさせられてゐるのである。

處は××縣××郡××町（名前丈けは氣の毒と思ひ發表を見合はせる）の小高き丘の上に會社附囑の肺病療養所がある。專任の醫師を置く事に、金を惜しむ會社は、町の開業醫に囑託して、隔日一回こゝに出張を乞ひ患者の診療を依賴してゐるが、其患者とて人員僅かに三十名に限り、且つカサカキにして同時に肺病に罹りたる者を、三ヶ月の期間に限り治療してやると云ふ事になつてゐるのである。ところが此醫者は、別に自分で經營してゐる有料病院（營利本位のもの）があるので其金儲けに專心一意從事し、一ヶ月幾十圓と云ふ安い手當の囑託病院には殆んど顔を出さない。折々顔を出しても、只形式的に聽診器を弄ぶのみで、眞實病人を治療してやらうとの誠意が無い。

或る職人は（妻と子のある男工であつたが）肺患に罹つて此施療病院に入院した、ところが妻は毎日子を背負つた儘、女工として工場に通はせられ、殆んど夫の病氣を見舞に來る暇もなかつた。看護婦が甚だ不親切であり、醫者の缺勤を幸に、毎日小説ばかり讀んでゐるので、少しも看護の實が擧らず、右記の患者は遂に大喀血をやつて、發熱四十度に達した。

病毒は遂に腎臟と膀胱とに廻はり、後には尿道まで腫れて排尿するのが困難となつた。

「どうぞ、助けておくんなはれ私小用が詰つて出ないでごわすさかいに」

患者は、診察のあつた日、手を合はして醫者に訴願した。

「なに？　小用が出ないと云やはるだか。うち内科專門のお醫者ぢやが、外科の事少しも知らんさかい、外科手術を要する患者はん。こゝ退院して他の開業醫はんとこへ行つて貰ひまひよう」

囑託醫は遂に喀血中の患者を此施療病院から追ひ出してしまつた。後に聞いた事だが此職人は下宿屋の二階で首をくゝつて死んだと云ふことである。

これに類した事實はザラにある。福岡の病院で醫者が患者の肉を食ひ、血を吸つた話を珍らしがる必要はない。資本主義制度の惡社會に在りては、醫者は梅菌に寄生する寄生蟲であり、病人の血を吸ふ惡鬼の類である

社會政策？　それがどうしたと云ふのか。温情主義の施療が何だ。赤十字病院。救世軍施養所、其他都市の肺病療養所を見よ。惡るい議員や、惡商人や、樣々の營利業者と結托し、協力して經營する今日の施療病院に一つとして救濟の事業に役立つものは無い。

有療病院の事は、茲に言はぬが花であらう。有療病院の醫者は悉く、其目的が患者の救濟ではなくして、金儲けそのものである。

吾人が、醫療の國有を主張することを以て危險思想となす勿れ。今日の醫療――資本主義制度に於ける醫者――こそ、實に恐る可き危險人物である。衆生濟度の看板を掲げて、衆生を搾取するもの、夫れ醫者と坊主と法律家乎。爪の汚や毛髮を試驗管で煮沸して、其功勞に依り、醫學博士の學位を頂戴し、十分間の診察料金五圓也は、何といふ恐ろしい大泥棒か。諸君、我々勞働者の敵は、ひとり資本家のみでない。中間階級と稱する智識階級も亦、多くは我々の敵である。

全線飛報

沈默の破壊

(全土戰線欄を讀みて)

何時まで我等の仲間は卑屈であるのか、
何時まで我等は無覺醒であるのか、常に
彼等ブルの暴逆と專横を知りつゝ沈默を
守るのか。
何故に反抗せないのか、何故に我等の
仲間は噴火しないのか、叫べどなれ高く
強く彼等ブルの面前に突進せよ。
我等の仲間には丁度次の様な文句が立
派にあてはまるのを悲しむ。
珍妙な高唄と得體の知れぬ叫び
きついマーシンの唸りごえ
それに仲間のわめきが加はり
痛ましき程に騷々しい
犧牲者のある時のみに起る
特異だ
仲間は騷ぐ
彼等ブルの搾取によつては
幾度となくわめきが新しくしぼり
出される
だが
卑屈より反抗の道程に移るには
餘りに因襲的であつた
叫聲は連續的に仲間は動く
然し誰が我等の敵に刃向ふぞ
誰かゞブルのえの鐵鎖をくだすぞ
あゝ、犧牲者の血潮は徒に
因襲より逃れ得ざる
搾取せらるゝ血が！
我等の仲間は未だ大衆の動きをさえ知
らないのだ。
農村青年の多數は未だ階級意識の判然
としてゐないことも勿論である。
現政府の不當を鳴らす爭論會に於いて
すら我等の仲間は自分自身即ちプロなる
ことをすら忘却してゐることがあるでは
ないか。
一歩進め！　反抗せよ！
反抗せよ！
大衆の動きを知れ。
然して大衆の動きに力強く鎚をもつて、
鋤をもてその旗下に參加せよ。

(北原赤墓)

元山のメーデー

同志である金鐘範は「朝鮮は三百餘里に亘る大監獄である」と云つた。一九二四年のメーデーを神戸で祝ひ、一九二五年のメーデーを立神丸の船中で同志を追憶した僕は始めて朝鮮のメーデーに唯一の幽憤晴らしと期待した、元山に於ける勞働祭前の講演宣傳やパンフレット發賣宣傳に就いては反動政治の横行する朝鮮には思ふも愚か、恰も鐵鎖に繋がれた囚人の觀がしてならない。

「我に自由を與へよ、而らずんば死を與へよ」とは全く朝鮮無產階級の絶叫である。一九二六年の元山メーデーは「進め」支局である元山勞働聯合會は主催として示威行列や記念講演會を開催すべく數日前より計畫準備中であつたが横暴なる資本主義の走狗の官憲は李王殿下の御昇遐を絶好の機會とばかり二人以上の集會を禁止すと嚴命したのである、然し大衆の勢ひは權力や黄金ではどうすることも出來ない。

聯合會の表前には早朝から氣持のよい宣傳ビラは揭げられた、又同志は同志で「今日こそは我々の日である」と云ふエライ元氣でつめ寄せた、同志一同は先づそれぞれ記念勞働をやり、それからマルクスの肖像を前に記念撮影を行つた、とかくする内反動政治の番犬林高等課主任は先來つて前記ビラ中「勞働者の威力を知らしめよ」を不穩なる宣傳文字と誤釋し抹消を命じた、同志は種々說明をすれど頑迷な地頭には勝たれなかつたので取消し只「四十年の過去を追憶せよ」と寸鐵式に書き揭げた、一同はその愚を嗤ひ郊外に午餐を求めて赴いた、番犬は番犬であるドコからかぎつけたか又七八疋の犬連中は來りついてはなれない、而して秘密會として開散の一天振である、「泣く子と地頭には勝れぬ」暫ひ同志は歸途に就き勞働聯合會の表前に至れば驚くべし警察官どもがらう者が猥りに所有權を侵害し横暴にも表前のビラをはぎ持ち去つたのである。

同志は激した、しかし未來は我々のものであると一同意氣揚々として五時閉散した。

(メーデーの夜　サイトウ)

覺めよ福井の兄弟

我が住む北陸の天地!!　それは福井である。福井と言へば、世人の知る如く絹織物產地として有名である。人口六萬を有する、小都會なれども、職業に從事して居る所の工場勞働者は少くとも一萬人を數へておるであらう。

其の中にはどこやらに本店を有する服部工場(紡績株式會社)とか言う千數百人を使用する大工場もある、數百數十人と勞働者をしぼる所の福井としては大きい大小の工場が無數にこゝかしこと立ならんで居る。

これだけの工場勞働者を有する我が福井にはいまだ勞働組合なる物が組織されて居らない。然し絶對に非ず。前年六月一日發會式を擧げたる(七百餘人より成る)福井縣勞働同志會なるものがある。勞資協調主義にて發會式當日一顧問曰く「勞資爭鬪は罪惡也故に勞働者は天分によりて働け」と言う(今の世の中でも、こんな頭の持主があり此等の者に指導されるのかと思うと情けない)ブルジョア及ブルジョア警察を後援に持つ完全なる御用組合がある。

此の組合が今日に致るまで何をやつて居るのか我々には判斷が出來ない。

牢獄に働く勞働者には其の大半は勞働時間が制限されて居らない。(就業後業)

大低十時間だらうと思う(然し小企業

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

場は十二時間だらう）今七時より五時までを一日とするならば、五時から八時まで殘業するならば三分の賃金を得られなければならない。

然し事實は相違して一分しか呉れ無い。其を不當なりと要求せば嫌なら止して呉れ。使つて呉れと言う者がザラに有過きて困るのだと大言す。それで勞働者は泣き〳〵してられて居るのでかうゆう惡風が永續して居る。（これは大底七八十人乃至四五十人使用す小資本家の横暴其の一部に過ぎない。）僕がそんな不當な事があるか。皆の意志が弱いんだ最後の手段に出でてでも（ストライキ）そんな不當な條件を撤廢しなくちや駄目だと聲援してもそんな事したら明日から首だと言うて僕等の言う事は問題にせず、誰も耳をかたむける者は無い。そのくせ蔭じや資本家を呪ふ。

資本家は俺の所で使つてやるから御前逹は生きる事が出來るのだと威張、勞働者は使つて下さる方があるから我等は生活が出來るのだと資本家を有難がる兩者いづれも違つた考を頭に深くきざみ込まれて居る。

我等が社會主義勞働問題の話でもやれば（そのくせ深くは知らんが）君逹は國賊だと言う。

其の理由如何にと突込めばでも社會の人が皆惡いと言うからと彼等の言う所非難する所には何等根底が無い。

僕が去年五月徵兵檢査とか言う有難い心體檢査を受けに、はるばると東京より歸鄕したる時福井警察署の一刑事來りて御前は東京で何をして居つた、何に!! 勞働組合に入つて居た。（在京中關東鐵工組合）そんな馬鹿な物に入つて居てはいかんぞ早く出てしまヘアーン。

あくまでブルジョア官憲タツプリの威壓的な其の言語、命令的な横兵なるタイプは實に〳〵シヤクに障つた。

總ての者が勞働運動社會運動が何故に起りて誰の爲の運動か眞に理解して居る者一人も居らないのだ。

我々は未組織な無自覺なる兄弟逹を自覺させこうしてどん欲横暴なるブルジョアを撲滅しなくちやならん義務其の大なる使命が横たわりて居る。又これが我等の使命と共に全生命なるを痛感する。

見よ時代はあやまれる制度組織によりて我等プロレタリヤは不景氣風におそわれて一歩々々暗き穴に引きずり込まれつゝあるのだ。

あかつきの鐘は鳴る、起てよ兄弟、さめよ福井の兄弟よ。互に固く手に手をにぎり彼のブルジョアの牙城に突擊せん。

福井市にて　木本親勞

築地村「進め」讀者に與ふ

築地村青年諸君よ君等が「進め」愛讀した故に君等は壓迫や干渉や迫害を受續あると云ふ、何故であらうそれは君等の純眞な心をおびやかしたのだ、君等が「進め」愛讀する故に彼等は君等が無產青年たる事を知るが故に彼等は君等を壓迫するのだ、君等が正義を求むる心を抑壓するのだ、君等が無產青年に自覺しつた故に彼等は怖しいのだ、尙彼等は君等より搾取せんとして君等を干涉するのだ。

村の地主や番犬共が君等ののびんとする智識欲をうばわんが爲に樣々の流言があるのだ、君等が「進め」を愛讀すその無產青年の使命を怖れるが故に彼等地主や教員や番犬共が君等に迫害をくわゐるのだ。

しかし君等は農業勞働者であり無產青年である事を忘れるな君等の智識欲を正義に對する燃えるが如き愛着と、君等は何を爲すべきかを知らればならぬ。

君等の農民組合は利益主義（一分幹部）賣名組合ではないか、君等を地主共の食物にせんとする地主の手先の組合ではないか？ 君等の青年會は地主共のお先棒ではないか？ 其地主逹の補習學校は君等を無智なるが故尙無智に教育せんとする地主逹に搾り取られよと教育する補習學校ではないか？ 君等は何故「進め」を愛讀したかを知られればならない。

我等無產青年の使命は斯う重大であり幾多の改造すべき事があるけれ共君等は現在に於て足の根から改造をしなければならない、現在君等の親や兄弟は何故組合を組織したか、併し君等の親や兄弟は何を爲す可きかを知られればならぬ君等の組合は非戰鬪的ではない協調ではないか、君等の組長須賀某は地主ではないか、そんな奴に眞實の無產階級の解放運動が出來るか常に君等は地主の食物になつてゐる事を忘れるな。

我等無產青年は日常に於ても常に戰鬪でなければならない、そして君等の最大急務として君等の足の根から改造すべきである。

而して進め戰へ、進め戰へ、それが俺のモートである。

佐久間一夫

急激に發達せる我が新潟縣無產青年部は燎原の火の如く進歩を遂つゝある、去る三月六日新津町に開催せる無產青年部第二回大會は縣下無產青年に青年解放の一大の曉鐘亂打であつた、壓迫や迫害を受け、資本家番犬共の横暴や干涉を物の見事打破つて無產青年の意氣と熱情とに湧き出する若き鬪士の言々句々は幾つれしも現社會の不合理と反逆との血潮に燃え、何者をも打破るべき無產青年の涙ぐましき現實の叫びであつた、××××××××××××××。

無產階級共同戰線へ左翼團體へ緊急動議として千葉縣南總支部に於ける爭議の犧牲者に義捐金を送る事を可決速時補子を廻したところ拾六圓餘の金が集まつた。

又緊急動議青少年軍事教育反對の議案は速時可決、其他幾多の議案等々は可決。

大會後諷演會となり辯士は幾れも注意中止を受けそして無事四時頃大會は終了。

新發田支局

一世紀遲れたる

——官憲の頭腦——

頼みにならぬ權力を楯に、弱い者逹には暴君の如く、富める人逹には番犬の如く、まことに冷血動物の標本——一世紀遲れたる官憲の頭腦をいつも嘲笑する我々プロは、敢へて彼等の存在も何ら苦にしてはゐられぬ。×××××××××××××××、××××××××××××××××××××××。この頃名古屋の市電に乘車してゐた際、進め、解放、新人、社會思想など持つてゐた自分は、あいにく乘り合せた愛知縣特高課の刑事に引

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

捕へられて了つた。白晝であつたから人の目にも立たなかつたが、その日より恰度十日間、市内の警察から警察へ檢束されてヘソのチを切つてから初めての御殿奉公をしたわけだ。事件は別に何でもないが、數ヶ月前に謄寫版で出した雜誌が因を爲したのだ。馬鹿を見たのは我々プロの連中で檢事局へ護送されて釋放されたは夜の十時だつた。それからと言ふものは所轄署の巡査と刑事とが入り替りに家宅訪問して來るので、五月蠅てならない。自分の留守の時など座敷にあがつて、讀む書籍や雜誌を調べたりするなど厚かましいのにも程がある。座談會をやる夜など刑事が二三人も來る神經過敏さだ。自分の同僚は刑事や巡査が來ると早速、「煙草はないかネ」と無心を言ふ。それが座談會の夜なぞは大勢なので、たちまち朝日一個ぐらゐ無くなるので、刑事連の顏たらありやしない。次には吃度變つた顏が表はれるが、これも二度來るのは珍らしい。斯くて一箇所の所轄警察署の巡査、刑事を知つてしまふと、また他の方面で座談會をやる。またコの手で刑事連を追つ拂ふ。これが勞働爭議、メーデーなどに餘程利くから、他の同志諸君はセヒ試みて見給へ。あらたかなコウケンがあるから。

（名古屋、大和久雄）

進まうではないか

働いても尚かつ食いぬ哀れな者よ奴の名は無產者なりとはよく云つたものである。

吾が茨城縣土浦町は縣下の一大發展地として目下盛に水田立工事をして居るが此の工事は藤川櫻井の兩名が請負人となり約三百名の朝鮮人と二百名程の邦人土工を使役して居るが此の五百名の鮮日土工は毎朝五時より午後六時まで土車（トロ）を押して其汗の結晶は一日一圓四十錢にして其内飯代七十錢を始め道具代だのなにのかのと差引かれてしまうと殘金は僅かに三四十錢位になつてしまうのであるだから雨の二三日も降らうものならすぐ借金になつてしまうのである尤も中には頗る眞面目な勞働者もあり相當金が取り分になつた頃好きな酒の一合も飲む考へで金を借り樣とすれば（自分が働いた金の請求）現金は渡さす傳票と云ふものを渡すのであるそして此の傳票を持參して町内の酒屋（一定の家）に行つてこのめるものを購入してくるのであるが此の傳票取引の商店と土工請負人とは相談をして置いて十錢の品は十三四錢位に賣付其利益金は商人と請負人とが當中に分けるのである尤も酒などはたいてい請負人の家で賣るが斯くして哀れな勞働者は借地を以つて朝は星影を踏み夜は月をあびて歸り滿三十日後の決算又は極く上等で借貸なし一寸やり損ないばすぐ背負つても立たれない程の借金をしてしまうのである同志諸君よ、使はれる者も人間なら請負師も人間である然るに如斯慘酷なブル階級をみる時私達はどうして默視する事が出來樣か此の時私達の頭にうかぶものはそれは人民保護てふ看板をかけて居る警察であるだが駄目だ彼等はブルの保護こそすれ吾れ吾れプロの保護者ではないのだ只だ私は此の哀れな同邦勞働者に向つて自覺せよと叫ぶのだそして貪慾あくなきブルジョアージイを倒し正義道を進めと絕叫するのである。

未知の同志諸君よ健在なれそして正義の道を濶歩し貪慾あくなき吸血鬼と其犬となつて吾々無產者を壓迫せんとする○○を突き倒して進まうではないか。

（茨城　好湯）

青年の使命

「進め」の發展を我等は嬉しく思ふ。私の樣な一農夫（馬鹿な）がペンを取るのだから何も良い物は書けないに、きまつて居る。而し農夫としての私の考を少し書く事にしよう。

吾が支局認可と成つて後は近所の人々（同じくプロレタリアー）の悲難の聲は一段と高かまつた。我等は此れを一番おそれるのである。

官憲の壓迫は當然の事である、其れは彼等がブル連の御用聞で有るからだ、そんな事は、おそろしくはない。又彼等御用聞が壓迫しようが、社會の必然（正義）たる潮流は止まる術を知らない。農民（プロレタリアー）の悲難壓迫は、我等をして最もおそろしがらせる、其の彼等の無智が……、同じプロで有りながら、同じ被搾取階級で有りながら．社會の眞理を正義を叫ぶ我々に反對するのだ。

其れは彼等が過去二千五百有餘年の悲慘なる歴史がしからしめたのである、農民は毎日毎日汗水たらして働いても樂は出來ない。

苦は樂の種とかブルの言葉にだまされて、今苦勞して居れば後に樂になると思ひ込んで毎日々々働いて來た而し彼等は依然として樂にはなれなんだ、で、ブルの言葉にもあいて、

農業とは此の樣な物だ「しかたがない」こうした、あきらめの心で暮して來たのだで今、我等が正義と眞理を叫んでも、彼等は又ブル連の言葉か？と、さらに受附けない、受附けるはずがない。其の彼等の無智（世の眞理正義を知らず、社會主義は良く無い者なりと云ふ）が、無法なる壓迫が、「我等は一番恐いのだ、全國の同志よ!! 兄等も此うした馬鹿（無智）に惱まされて居る事と信ずる。

而し我等は何處までも大衆の中に入り込み、大衆と共に進まねばならない、共して理想の社會を建設せねばならない、我等は如何に、壓迫は激しくも、又如何に悲難の聲は高くとも理想に向つて雄進せねばならない。

××××××××、××××××××
××××××××××××、××××××
××××××××、××××、××××××
××××××××。

おお世は、ごう〳〵たる世紀の曉だ。
全國の同志よ起て!!
理想に向つて雄進せよ!!

長野縣北安支局　傘木幸盛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞農夜話

生野の勞農一揆

（一）

我國の歴史を搜ぐつて、勞農共同戰線の下に、所謂一揆騷動を起して、時の權力に對し民衆の訴へを貫徹した史實は、德川八代將軍吉宗の時代（元文三年十二月十六日）に於ける生野銀山の鑛夫の暴動に端を發して生野代官所管下の朝來、養父兩郡の百姓が、それに應じて竹槍蓆旗の軍を起した事件がある。

生野銀山の鑛夫が烽起した原因は、時の生野代官小林孫四郎が、鑛山請負の親方（當時之れを加奉と稱へて、鑛夫の生命與奪の權を握つてゐた）赤井佐次右衛門と呼ぶ奸物と結托して、次の如き布令を出したことから始まる。

（書狀原文の寫し）

銀山銅賣口百斤に就て古銀二百七十匁位に從來賣來り候處此度銀山の町人赤井佐次右衛門と申者の申分に依り、大坂銅座着にて文銀百三十匁に値段御極被成、右利分は公儀へ相納候積りに相成り、之依而抜賣堅く御停止にて、關所迄も御吟味單敷仰被出候

この布令の目的とする所は云ふ迄もなく、赤井の手に銀賣買の權を壟斷させて、その利益を自分も共に懐中にしやうと云ふ代官小林孫四郎の計劃であつた。

斯くして一人の赤井の手に銀賣買の權限を奪はれた、他の鑛山請負親方は忽ち、自分の生活に窮したばかりでなく、その配下に居る鑛夫達（當時之れを下財と呼んでゐた）に支拂ふ可き賃銀にも窮して來て、生野銀山數千の鑛夫は飯を食ふ事も叶はぬ飢餓の生活に陷つて終つた。

この窮した生活の底から先づ立上つたのは、鑛山請負親方の數名であつた。協議して代官小林に赤井の排斥運動を開始する事に決定して、連署の上で代官所へ嘆願書を差出した。が之れは決して通る事ではない。即刻突返へされて尙ほその上に散々に叱り飛ばされて追拂はれた。

其處で請負親方は自分達の運動だけでは其効なしと考へなほして、第二段の戰法に取懸つたが、それは自分達の配下の鑛夫を、この計劃に抱き込んで終ふことであつた。時代はまだ自由民權の思想が擡頭する前である資本主義經濟が日本に芽ぐむ前の、封建專制の時代である。第三階級のプチ・ブルの親方と純プロの鑛夫達とが協力して、專制權力の把握者武士階級に對して反抗しなければならぬ時代である。忽ち代官所の役人小林孫四郎と其相棒である赤井佐次右衛門に對する攻守同盟は、親方とその使用人即ち鑛夫との間に結ばれた。

元文三年十二月二十六日の眞夜中に、二千餘人の鑛山から繰出した群衆は、代官所の周圍を包圍して鯨波を擧げた。

（二）

同時に他の一隊八百餘人は赤井の邸に押し懸けて、門戶を打破つて亂入した。もう斯ふなれば暴徒である。最初の嘆願運動は暴動と化して、刻々に生野の町は動亂の巷と化するばかり、十六日の夜半に始まつた運動は一週間を過ぎた二十二日になつて、その絕頂に達して來た。今は鑛山請負親方のプチ・ブル運動ではなくて、この運動の實權は何時しか純プロの鑛夫達の手に握られ、統制力を失つた一大群衆は荒れるが儘に、生野の町を荒れ廻つた。

斯くまでなると最早や代官所の權威は完全に失墜して終つて鑛山の要求する儘に、二千人の生野銀山鑛夫に對して、文銀百貫米百六十石を與へる事となつて、この事件は漸く落着しさうに見えて來た。所が翌元文三年の十二月末になつて、今度は生野の百姓が鑛夫に加勢して立ち上つたので、事件は急に擴大して、遂に銀山暴動の首魁に對する處刑も實行を延ばさなければならなくなつた。

これから其の百姓一揆に就て書き續けやう。

（三）

生野代官所小林孫四郎の支配下にある但馬朝來郡養父郡を取締つてゐるのが、小林の屬吏鈴木金八郎である。この金八郎が前の赤井と同樣に親分の小林と腹を合せて、領内百姓の年貢米を搾れるだけ搾り取らうとしたから、百姓達には堪らない。その上に飢饉に襲はれ續きで、年貢米を納めたくも米穀が手に入らないから、自然と滯納する。滯納すると忽ち猶豫もなく召捕はれて身體は牢獄へ、家財は官没と云ふ有樣。民の怨恨は重なり重なつて、時機さへ來れば、機會さへあれば何時騷動が勃發するかも知れぬと云ふ、不穩な空氣が領内一帶に溢り涉つてゐた。

この情勢を観取して先づ立つたのが、朝來郡野間村の庄屋小兵衛同じく殿村の庄屋佐兵衛、同じく加都市場村の庄屋彌兵衛に他數人の百姓達である。他の場合と同樣に彼等も代官所に對して減税嘆願運動を起し、また窮民には扶持米を出して百姓達の餓死を救ひ、尚ほ社倉（現在の非常時に對する準備米）をも開いて賑はしたいとの訴狀を提出した。

然しそれは勿論生野銀山の時と同樣に、奏効する筈もなく却つて反對に、年貢米の取立は嚴敷くなり、家財を没收されて官に曳かれるものが續々として現れた。この時である。生野銀山二千の鑛夫はその親方達と協力して（と云ふよりも實際は寧ろ親方達に利用されて烽起したと見る可きであつたが）代官所に迫り、生野の町は鑛夫一揆の占領する所となつた、との飛報が自然と朝來養父兩郡の百姓達の耳朶を打つた。さらでも動搖しきつてゐた兩郡の百姓は、この飛報に急にどよめき出して、油の中へ火を投げ込んだも同樣に、この時機を遁すなと、村から村へと觸れ歩いたから、忽ち一揆に同意する者が三千人から集つた。

時は元文三年の十二月廿九日で、生野の鑛夫一揆が漸やく下火に向つた時であつた。

（四）

斯くの如くに生野銀山の鑛夫一揆に應じて烽起した、朝來養父兩郡の百姓一揆三千餘名の大集團は、蓆旗數旒を先頭に押立てて、竹法螺に歩調を揃えながら、郡内の竹田町に亂入して鯨波を舉げつつ、庄屋の邸を血祭りに町内の豪家の打壞しに取懸つた。

斯くてこの百姓一揆は遂に、沿道數十里を行く行く荒しながら、最後に生野の町に雪崩入つて、その勢の向ふ所は遂に代官所を占領して、役人を追放しその玄關に蓆旗を立てて凱歌を舉げた。茲に完全に生野銀山の支配權は、一時なりとも生野勞働者と農民五千人餘の掌中に落ちたのであつた。

之れが我國百姓一揆の歴史中でも有名なる、生野暴動又は生野銀山百姓一揆と呼ばれる事件で、我國の三大百姓一揆中の一つであるが、この飛報を耳にした隣國の諸大名は、遂に兵を差向けて、この百姓一揆を鎭壓せんとしたのである。今、その時の諸大名の出兵數を調べると、播磨姫路の榊原式部大輔からは兵八百五十人、同じく福本の松平三次からは兵百人、但馬出石の仙石越前守からも歩卒廿五人其他で合計一千名に近い軍兵を出陣させて、生野の町を警戒させたのである。

之等の軍兵は夫々正月の元日から三日四日位の間に、生野町に到着した。

一方、生野の勞農軍は元文四年一月元旦の早朝から、代官所役人小林孫四郎と交渉を開始した。そして遂に代官小林の直筆で、左の通りの一札を書かせた。

（原文の寫し）

記

一、向後共にも付高に免四つ成之積申立百石に三十石宛飢夫食申可付候先村方へは引退可申者也

未正月

小林孫四郎㊞

この一札を手にした鑛夫と百姓の一揆軍は、漸やく代官所退散の色を見せ出した。鑛夫と百姓の集つた總勢は五千人以上ではあるけれど、獲物としては鑛夫側の鶴嘴に百姓側の鋤鍬その他には竹槍に過ぎないのに、生野の町を包圍した大名方の軍勢には、弓矢、鐵砲、太刀と云ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

武器がある。それに勞農側の不統制とは違つて、先方には訓練があり、それを指揮する者がゐる。流石に荒れに荒れ廻つた一揆軍も、疲勞とこの威壓とに疲れて來たのだ。

其處を突け込んで、妥協の一札を入れたので、一揆は内部から動搖し出して、一日一日と村へ退散する者が殖えて來た。その正月の七日である。生野代官所からは急に村方の連中に逮捕の命令を出した。

第一番に目星をつけられたのは、朝來郡野間村である。野間村捜索の結果、同村から捕はれたのは七人。續いて加都市場村から、岩間村から、久田和村から、下村から、奥村からと云ふ様に連日のやうに、生野の町に曳かれて來た。總數二十二人で悉く首魁と決定された者ばかりであつた。之れと鑛山側から捕はれて、既に牢獄に繋がれてゐる者十八人を合せると、三十三人の多數に上つた。

生野代官所では、暴動の内容を具申して、京都所司代並に江戸表へもその裁斷を仰いだので美作の郡代官池田喜八郎を立會吟味に命じて、三十三名の吟味を開始した。之れが一月の廿九日であつたが更らに、四月の十一日に京都町奉行所の手に、この事件を移すことになり、四月十八日嚴戒裡に生野の牢を出て二十二日に京都へ着、直刻六角の獄に入れられて町奉行白井伊賀守、島長門守の二人の手で吟味開始となつた。

（五）

生野銀山の鑛夫の暴動が口火となつて、遂にその支配下の百姓一揆となり、五千の勞農大衆の代官所並に生野町の占領でその絶頂を極め、最後に隣國諸大名の出兵に依つて、漸やく鎭定したこの生野一揆の最後の結末は、餘りにも悲慘な多くの犧牲を出して終つた。

即ち鑛山側と農村側と兩方を通じて死罪獄門十八人（内獄門鑛山側二人農民側五人、斬棄鑛山側二人農民側一人）を出し、追放遠島は兩方を通じて二十二人（内遠島農民側からのみ八人を出した）を出し、朝來郡安井庄下村の庄屋總右衛門と云ふのはこの事件には不取締の廉で役目取上げとなつた。

德川時代に於ける農民一揆は常に死を賭しての爭鬪であつた。敗れれば勿論死であるが、勝つても常に勝利の直後には死であつた。之れが當時の德川の權力に對して、一指彈を加へた民衆の受くる賜物であつた。だからその當時に於ける民衆の運動は悉く血を以て彩られてゐる。そしてこの彈壓を受けた者は、當時の純プロレタリアのみではない。後世資本主義の中堅となつた、町人階級も等しく武士階級から搾取せられてゐた。だから德川時代の民衆運動には、特に百姓一揆には庄屋や地主が小百姓と一緒になつて、叛亂を起してゐる。その犧牲者も多く中産階級から出してゐる。この生野一揆の首魁も、悉く中產階級の庄屋乃至は鑛山請負の親方である。封建制度が倒れる迄は、この自由主義的抗議は、假令それは支配階級に對する被支配階級の蹶起ではあつても今日の如き資本階級に對する勞働階級の抗議の如き社會的ではあり得なかつたのである。

街上素描

春の日の、ぽかぽかする暖かさに
ふらり、ふらりと
懷手姿で、銀座を歩けば
赤いお錢が
威勢よく、ちやらり、ちやらり。

◇

ぶんと來る
松喜の前の、いい匂に
うつとりと嗅ぎ惚れてゐると
素張らしい
フォードの自動車が
間抜け姿を笑ふやうに
ぷつと一發。

◇

畜生つ、勝手にしやがれ！
忌々しさに、空を仰ぐと
陸軍の飛行機が
一列縦隊をやつてゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社だより

獨り言

進め社の事業として雜誌進めを出す以外に、パンフレットの發行と研究會の開催とは、是非とも必要な事と思ふので、まづパンフレットを出した所が、忽ち發禁と來たので、折角の計劃も一寸行詰つたやうにも見えるだらうが、之れは決して中止はしない。社會主義辭典も完成しだし、引續き出すパンフレットも起稿中のもあり、既に手許に來てゐるのもある。研究會も月二回位は開き度いので、目下講師を選擇中である。尙、夏期を利用して進め社の地方講演會も遣り度いと思ふ。進めの讀者諸君で、準備さへつけて下さる樣だと、人數は大抵揃えられると思ふのだが。

・この月の中旬頃に市外長崎村へ引越す積りだ。今度行く家は畑がウンとあるから、畑でも造つて夏になつたら、マヅイ茄子や胡瓜や豆でも、遊びに來た人に喰はせるかな。進め社も引越す事になつてゐるが家がない。大きな家で無家賃と云ふのを知つてゐたら、誰でも知らせて下さい。何時でも引受ける。

天候險惡

六月も近いと云ふのに、時に思ひ出したやうに、バカに寒い日がある。餘り人間が誰も彼もダレ切つたので、天候とそれなく何かを暗示してくれるのかな。それにしても毎年の例なら、もうそろ〳〵プロの羽根を伸しても、いい季節なんだが、から寒くては、義理にも水ッぱなを垂して迄も、單衣や浴衣も着てゐられず、實に曲げた外套が、そぞろに戀しくなる。だが然しだ。吾進め社に來て見給へ。もう季節は季節だと云ふので、褌一本で浴衣を引懸けてゐる連中ばかりだから。寒いなんて事は、暑いと云ふ語と同樣に、吾進め辭典にはありやしないんだ。天候の野郞めッ勝手にしやがれだ。（李平）

時には一興

五月號また發賣禁止と來た。例の如くと云ひ度いが、二月三月續けて發禁となつて、四月が花見時で少し緩んだかと思つたら、五月號は發賣頒布罷成らぬとの仰せ。泣く子と地頭には勝てぬと、昔からの諺にもある。六月からはお上の御意に協ふやうな雜誌を出さうとは思ふが、それも思ふだけで、扨て何うなるか知れぬ。何と喋つても、ヤッツケルのはお向ふの役目、ヤッツケラレルのは此方の役目でもないが、先方は先方此方は此方と——如何程此方の放送に氣はつけても、彼方のアテナが不充分では、何の甲斐もない。

時は新綠だ、入梅期を前に控えても、一年中で一番の好期節だ。發禁發禁に氣を腐らせずに、一つ進め社同人並に讀者同志の大集團で、多摩川あたりへ一大ピクニックを敢行しやうではないか。時々は野ッ原で、勢一杯に怒鳴つてアバレルのも、時には一興だらうと思ふ。贊成の諸君はお手をお上げ下さい。

都會の片隅の大厦高樓でもないが、兎も角も二階家から、首を突出して世相を觀じてゐる所へ、忽ち飛電一閃して、二錢出して買つて見たら、英國の罷業開始だつた。扨てそれから何うなるかと、障子を閉めて形成觀望してゐると、十一日目になつて、嘘か誠か知らぬけれど、組合側のブル負けで罷業終熄、交渉再開と今朝のブル新聞は報じてゐる。

何でもイイ、近頃にない毎日の新聞が樂しみだつたのに。（XYZ）

地方へ行け

議會の解散も濟んで、そろ〳〵各地方での報告演說に、次には夏期講習會、夏期××大學其他云々の思想善導會や、黑シャツ鼓吹講演會が、官吏の成り上り、軍人の古手、坊主の金もうけ仕事などに滅多矢鱈と頻出する季節が來た。無產階級の者どもは、一つそれに泡ふかせる爲めにも、地方の講演會をやり度い所だが、如何にせん彼奴等とは違つて、金がなく力がなく（と云ふと恰も昔の色男の樣だが）指を咥えて引込んでゐる例が數多くある。

日本プロレタリア文藝聯盟と云ふのが、先達て發會式を擧げて東京では大分いろんな事に働らいてゐるが、未だ地方までは手が屆かぬらしい。早くこんな團體が先頃潰れたフエビアン協會の代りに、地方へ活動して欲しいものだが、そんな事を云ふよりか、進め社同人が勢揃へで、この夏は全國的に繰り出すか。その時は支局の諸君宜敷く賴む。（金角學）

聰かんと欲す

六月夏雲綿の如く白く湧き出る空を、三越の屋上から仰ぎ、俯して大東京の壯觀を眺めて、昔の相馬將軍の將門が、叡山四明ケ嶽の上で呟きし事を想起す。

凉風天の一角より吾地球の上に吹き下ろして、ブルもプロも蟻の如くに、時に捲き上る砂塵の中に蠢動するの光景は痛快至極くだ。嘗て雄大なる雲の峯が西の空に崩るるの偉觀を、この屋上より眺めて手を拍つて快と叫びし、昨夏を想ふ。諸君一杯五錢のコーヒーを呑んで、三越の屋上で天下の凉風を占領するも、プロにとつては、左程惡き事にも非ざる可し。

××　××　××

ポーランド革命成効せりとの報を聞く支那關稅會議中頓を發して漸やく一件だけた讓し了ると、軍縮會議に米國の提案、頗る勢なくと。恐く之れ何の兆ぞ。日本でも六月に近くして、未だ袷を離す事能はず、改造內閣は行惱み、不景氣は今やドン底を見せ、暴威取締法が威勢よく生れて、親方に盃を返す御連中も出て來たとか。これでも、日本國が救はれずば、抑抑宰相閣下は何を出し給ふ所存にや。吾等平民共は、切にその答を聽かんと欲す。

××　××　××

此處にや夜もなし晝もなし
マイトを抱いて寢るこころ
酒や女で忘らりよか

×××××××××××××××××。切に閣下の名答を聽かんと欲する所以。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地方農村の現狀

伊藤龍三

（一）

所謂農村振興とは何を意味するか。農業振興であるか農村の經濟的振興であるか。聲のみ大であつて實績の擧らないのはどちらでもないのである。吾々は地方農村の現狀を考察して農村の窮乏を救ふ道を考へて見やう。

「改める事を知らないのは農家の共通な點で親の代も五反百姓子の代も五反百姓で少しも改善しやうとはせず其のやり方も胸算胸覺えである百姓とはこんなものだと獨りできめてゐる。然し何事も經濟の世の中に處した今日の農家はそんな事では到底やつて行けなくなつた。現代の農家はお互の農業に最少し内部に食ひ入つて深く考へねばならない。食つた他に人間らしく活きる事の出來る勞働でなければならない。これが爲めには一家の經濟の根本に深く立ち入つて考へなければならない。」と、當局の歴々が地方へ來て云ふ。然らば今迄の農業のやり方をどの點まで改良する事が出來るか。縣郡當局は農業技術員を派遣してくれるが其の土地の事情に暗く又經驗も淺い若い實業學校出の者がどうして地方の特殊な集約農業を改善する事が出來やう。改良播きだとか改良作だとか云ふものは經濟的に疲弊してゐる農村にとつてはより一層に手慣れない勞力の負擔を增さしめるだけである。燐酸がいゝアンモニアがいゝと云つてもそれは平野の農事試驗場での事で土壤の違ふ地方では却つて不作を生ずる恐がある。また金肥ばかりを奬勵する爲めに大切な厩肥や堆肥の使用がすたれて土質が惡くなつたりする。貧しい中から金肥を買ひ入れるが支拂ふ金がない。金肥を入れた田畑に草が生える。借金には利子がつく草に迄利子がつく樣な有樣だ。

更らに今迄は勞力を餘りにむだに使ひ過ぎてゐるから勞力の分配を適度にしなければならない。そして其の餘力を副業に當てよと當局では云ふ。しかし地方の副業が農村の經濟を救ふ事が出來るであらうか。養鯉をする養鷄をする、或は養豚をするとすれば甚だ利益が多い樣だが交通不便な地方農村では忽ち生産過剩となり又農家には夫等の飼料が到底ないから買ひ入れるとすると結局の所大きな損をする。虛と思へば實際やつて見るがいゝ。又そんなに利益があるものなら苦しい農村が爭つて經營すべき筈ではないか。製繩機を買ひ入れて繩を作れと云ふが地方農村には繩として機械製造して出す程の餘分の藁がない。全く自給自足でやつて來た地方の事だから餘分のものがあり樣筈がない。

（二）

更らに最近農家の勞働を輕減する爲めに動力農具の奬勵をする。奬勵金を出してゐる縣さへある。多くは脫穀機や石油發動機である。成程確かに便利である。能率も高く玄米一石を作り出す迄に人力に比して四分の一の作業費で足りる。農村電化と云ひ動力農具と云ひどれも金なしで出來る事なら甚だ結構だが便利で能率が高いだけに高價である。脫穀機の二十圓内外除草器の三圓内外位が手に入りさうな所で他のものは五十圓百圓五百圓トラクター（自働耕轉機）の如きは實に千圓二千圓の高價である。どうしてこんな高價なものが文字通りの水飮百姓に買はれやう。自作農でさへ農業は引合ぬと云ひ明らかに收支計算に缺損を見せてゐる今日地主に搾取されてゐる小作人が引合ふ筈がない。

（三）

農業の技術的改良の餘地はあつても指導者がなく副業は損となる。蓄力と動力の利用が出來なければ勞力の節約は出來ない即ち農業振興の餘地は經濟的解放によつてのみ得られる。農村の經濟を極度に壓迫してゐる資本主義の破壞にのみよつて得られる。一時的の經濟的救濟は到

（二十六頁に續く）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

無産階級婦人と階級意識

安達健吉

現在の資本主義的社會組織に於ては、無産階級に屬する婦人達は、同じ無産階級の自覺したる男子と共に、不合理なる資本主義的社會組織を……もつと正しい社會組織に改革すべく、揮身の力を振ふ可きであらう。

婦人が生産的勞働に從事して經濟的獨立を得る事が、婦人を解放する重要な條件であることは、云ふ迄もないことである。又男女賃金の差等廢止、家庭的奴隷の解放等、婦人解放の前途には種々の問題が横たはりゐるが、先づ第一の運動としては、無産階級婦人を輕蔑し、しかも全然無視し度外視してゐる、所謂貴婦人と稱する者を撲滅する事である。

大概の婦人團體や、婦人の團體的運動には必ず貴婦人なる者が飛び出す、そして必ず横暴を恣にする。しかるに無産階級の婦人達はこれを是認して、彼等貴婦人の我儘と、利己心に充分な滿足を與へてゐる。然かも其結果は、團體運動の内容を無茶苦茶なるものにして終るのではないか。然かも婦人運動の十中の八九迄は、必ず貴婦人なるものを頭上に戴くことを光榮としてゐる。之れが爲その團體運動の根本精神は蹂躙されて、遂ひには少數なる貴婦人の野心の犠牲にされて終るであらう。

無産階級の婦人諸君よ、資本階級の婦人（貴婦人）を驅逐せよ。若しもこれが出來ないとすれば、如何に努力した所で、有ゆる婦人運動は結局彼等の我儘、彼等の利己主義、彼等の虚榮、彼等の野心の犠牲になるばかりである。

所謂貴婦人とは何者であろう彼等は殆んど良人や父親乃至は祖父のお蔭である。然るに彼等の良人や父親は勞働せずして、無産階級の勞働者達から殘酷に搾り取つた金で贅澤し、暮してゐるではないか。

彼等貴婦人が眞に人間的な心持があるならば、良人や父親が勞働者達から殘酷に搾りたり、或は壓迫することを見て、心から耻ることであるに、彼等はそれを耻ようとしないばかりか、却つてそれを誇りとしてゐる。いはんや彼等貴婦人なるものは人間の寄生蟲である。

有ゆる婦人解放運動に於て、先づ何よりも最初に實行すべき事は、階級意識に目覺ることである。即ち資本家階級に對する憎惡と、反抗的精神とを、もつと盛に燃し、同じ無産階級に屬する男子と相携へて、敢然として彼等の暴虐に當るべきである。

「弱き者よ、汝の名は女なり」と云はれたるは、もはや既に過去のことである。即ち「自己が他人の奴隷となることに非ず、又他人を自己の奴隷にする事に非ず、唯自己が自己の主人となる事である」

階級意識に自覺せし無産階級の婦人諸君よ、

團結を唯一の武器として、勞働組合を組織する勞働者と同樣に、無産階級の婦人と、組織と團結より成る組合を作り、一般勞働者と協同の戰線に立ち、無産階級の解放、婦人解放の日を早めることが、人類全體を幸福に導く道であり、現在に於ける無産階級婦人の急務であらう。

（二十五頁から續く）

底根本的の農業振興をすることが出來ない。地方農村も又一般農村と等しく經濟的解放によらなければ到底今日の窮乏を脱する事が出來ないが××。農業振興も農村の經濟的振興も實に此の政治行動に依つてのみ實現される。農民運動の必要がこゝに生れて來る。農民組合は其の第一歩である。

「農家の經濟の根本に深く立ち入つて考へる」と農民のとるべき道は上述の外にはない。××××××××××××××××××××××××「××××××××××××××」××××××××××××。左か右か生か死か？　道はたゞ一である。！

起て自由勞働者

馬場久

　起てよ自由勞働者目醒よ自由勞働者、默々として土を運びツルバシを握る我等の勞働は實に純筋肉勞働にして一日十時間以上の勞働を强要せられ併して得る賃金は一日一圓五拾錢そして一ヶ月の內我等の働ける日は今時に於ては十日を越へない。

　朝は六時頃から事務所におしかける勞働群は百人の內二三十人も働きに付ければ好成績の日である。そして如何に早く事務所の受付けにおしかけても新參の自由勞働者は古參者のために所謂『差くられ』今日此頃は三日に一日仕事にあり付けば好成績である。

　併し我等自由勞働者には力がない組織がない何が由に力がない組織が出來ないのか我々自由勞働者はお互に無智なるがゆえ親方に骨拔きにせられて居る、親方の下に組頭所謂小頭が居る彼等がそも／＼資本家の手先き親方の手先きであるのだ、一日純筋肉勞働して一日一圓四五十錢、二圓の收入とては無いのだ其理由は一日一人に付き五拾錢ないし一圓頭をけられることそして小頭は働き以上の收入を親方から受けることと萬一親方に反抗すれば失業し明日のパンに餓へなければならないこと又は小頭の手に依つて暴力を行使すること實に我々は社會のドン底に居るのだ。あの大厦高楼も我々の手に依つて成るのだ。我々兄弟には住む家もなし着る着物もない一ヶ月働ける日が約十日あとは働きたくとも仕事がないのだ實に一ヶ月の收入が十五圓や十七圓である、ブルジャージ階級の一時の待合入りの費用にも滿たないのだ。日本で一番シイタゲられて居ると云はれし村の小作人より以上悲慘なる者は我等自由勞働者である、直視せよ爲政者。

自由勞働者の爲に

自由勞働　濱野信次

　初夏の光は新しく輝き俺等の頭腦に輝りつける、汗又汗拭いても拭いても出る脂汗、腕は折れんばかり、肩は痛む、肉體は疲れて崩れるかと思はれる。

　ブルジョアーよ、俺等兄弟を搾れるだけ搾つてくれ、脂がなくなら皮を剝げ、肉を食へ、そして俺等の兄弟を骨ばかりにしてくれ、俺は自由勞働者の爲に願ふのだ。

　俺等の兄弟は自覺したりとは言へ他の勞働者に比すればすべてに於てまだ前途有望な處が有る俺等の兄弟はブルジョアーの奴に骨をも食はれんとする時にならなくてはだめだ其の時になつて始めて確固なる團結力を有し彼等ブルジョアーに對して戰鬪を開始する事が出來る。

名案

　そろそろ農繁期に入つて、農村の青年プロレタリアは、寸暇もなく忙殺される。例の青年軍事敎練は本月から、實施される事になつて、既に東京を始め各地方地方にも、實行着手に懸つた所もあるが、この農繁期の、それでなくても搾り盡されてゐる青年プロレタリアは、軈て來る可き血稅の準備の訓練に、一週六時間を徵集されるのだ。そして學科と稱して、ブルジョア階級擁護の觀念を植えつけ、鐵砲を擔いでイザ一戰と云ふ時の鐵砲玉の標的にしやうとの考えは、誠に無理からぬ御仕事と思ふ。その爲めには地方振興費と稱して、內務省から支出の巨費を、この軍事敎練費用に流用するなどは、無智な人民共を資本主義のからくりに引懸けて搾るには、頗るの妙策だらう。

　どうせ簡易保險と云ふプロ階級から絞つた金で、自作農設定とやらの、小ブル階級自滅防止策を遣らうと云ふ名案を持つ御連中だから、俺達プロ階級とは餘り考え方が違ひ過ぎる。青年軍事敎練……さて今後がどうなるやら。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め・講座

社會主義講話（四）

石川準十郎

社會主義の期する社會の仕組の理由

（社會に貧乏の存在する理由）

(B)社會的無駄

先に言へるが如く、今日の社會に於ける貧乏の原因には大體二つある。(一)階級的搾取と(二)社會的無駄との二つである。而して階級的搾取に就ては既に述べた所である。次に本號に於ては(二)の社會的無駄に就て專ら述べることにする。

私が此處に「社會的無駄」と云ふのは、社會の仕組乃至社會の行り方に依つては全く爲なくても宜い事を、社會の仕組乃至社會の行り方が惡いが許りに爲て居る所の經濟上の無駄事を指して言ふ。而してこの社會的無駄は更に、(一)生產的立場より見たる無駄と(二)消費的立場より見たる無駄との二つに分けて考へることが出來る。次に順を追ふてこれを説明し展開しよう。

社會の貧乏の原因としては、階級的搾取よりも寧ろこの社會的無駄の方が重大であると思はれる。社會主義は、單に階級的搾取を廢止して今日有產階級が取得して居る所の餘剩價値を社會の手に乃至勞働者の手に收得することを目的とするものであるならば、我々は大した物質的享受の增大を期待することは出來ない。が社會主義の强味とする所は、階級的搾取の廢止に依る一般社會人の物質的享受の向上よりも寧ろこの厖大な社會的無駄の廢止に依るそれにあるのである。このことは社會主義を理解する上に特に注意を要する點であると思ふ。

(一)生產的立場より見たる無駄

今日の世の中は生產機關の私有制を前提とした自由競爭制の世の中である。即ち生產は個人若しくは個人的團體に依つて營利を目的として自由に營まれる。隨つて社會の爲には善からうが惡からうが構はずに、個人若しくは個人的團體の利益を標準として生產が行はれ、生產機關が運用される。その結果として、社會的立場から見て驚く可き不合理即ち無駄が、生產上に行はれるに至る。それは一言にして言ふならば生產の人爲的制限である。

この人爲的制限は或は故意的制限と言ふが妥當かも知れない。要するに社會的立場から見たる生產の不自然乃至不合理な制限を意味する。

今の世の中に於ては、現在可能な生產力を十分利用することが出來ない。例へば十の生產力があるものとするならば、其中三しか利用し得ない。この事は一寸聞いただけでは甚だ奇異に感ぜられるかも知れないが、資本主義生產の本質を理解するならば、諒解するに難くない。

先にも言へるが如く、今日の生產は個人若しくは個人的團體に依つて、個人若しくは個人的團體の利益取得即ち餘剩價値の獲得を目的として行はれる。隨つて社會の爲にはなつても、その生產機關を有する個人若しくは個人的團體の儲けにならない所にあつては、生產力に餘裕があつても、生產は行はれず、若しくは生產は中止される。

(1)平常時に於けるその作用

この作用は常にも各方面に種々の形態で以つて作用して居る。

例へば、社會的立場からすれば、富は出來るだけ多く生產さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れるに超したことはないのである。けれ共今日の生產者の立場から見る時は、あまり多く生產することは禁物である。何故ならば、その生產物の價格が下落するからである。下落する許でなく或は賣れなくなるからである。その生產物に對する社會の需要乃至購買能力には一定の限度がある。而して物價は需要供給の關係に依つて著しく影響される。生產に比例して需要が增大するに非ざる限り、多く生產すればする程その生產者の利益が少くなる。彼は社會の爲に生產して居るのではない。彼の利益の爲に生產して居るのである。彼の利益の見込が減退すれば彼の生產の意義も減退し、彼の利益の見込が消滅すれば彼の生產の意義も消滅する。隨つて彼はその生產を制限乃至中止する必要を生じて來る。

彼等は競爭上出來るだけ多く生產して出來るだけ安く賣らうと努力する。然しそれには一定の限度があると共に、彼等のこの努力の一方には又出來るだけ少く生產して出來るだけ高く賣らうとする努力が作用する。今日各方面に所謂トラスト即ち同一產業の合同經營の著しい發達を見るに至つたのは、全くこれが爲に他ならない。即ち平常時に於てその生產を適度に（彼等の利益上から考へて）制限し調節し、以つてその利益取得を常久に維持して行かうとする組織に他ならないのである。

此處に需要と云ふのは必要とは異る。必要があつてもそれに購買能力が伴はなければ需要にならない。

この作用は既に着手されて居る生產に作用して、その生產を制限し若しくは中止せしむるのみならず、屢々ある產業の開始乃至發達を未前に抑制し不可能とする。

生產に必要なのは生產機關と勞働力とであるが、今の世の中に於てはこの二つは所謂資本に依つて準備される。所で今の世の中に於ては、所謂資本なるものは一部少數者の手に獨占されて居り、全く彼等の個人的利益を目的とし標準として投下される。隨つて資本は利益即ち剩餘價値の多い所に集中して行く。その產業が社會的に有要なものであると、若しくは有產階級の贅澤品を生產するものたるとを問はない。兎に角より多く儲かる所に集つて行き、決して緊要な生產に投下されると限らない。今日我國に於て三百萬町步の耕作可能地（政府の調查に依る）が有り、勞働力もあるにも拘はらず開墾されないが如きは、乃至農業が一體に牛馬其他文明の利器を使用されることが少くして舊式の耕作法を脫却することの出來ないが如きは、全く我國の資本が資本家の手に在つて主として商工業に向けられ、利廻りの低い農業は顧みられなかつた爲に他ならない。之を要するに、今の世の中に於ては生產力はあつても、資本の移入の關係上その生產力は運用されるに至らず、隨つて生產が行はれないのである、

斯くして不斷の生產の人爲的制限の結果として、社會には常に運用されない若しくは運用中止されたる生產機關と失職せる所謂失業者とが存在することになる。社會はこの失業者及び有產徒食者の勞働力の損失だけでも莫大なものである。

この生產を人爲的に制限する作用は、運行中の生產及び未前の生產に作用して中止せしめ若しくは抑止するのみならず、生產結果即ち生產物そのものにまで執拗に作用して來る。

生產者若しくは商人はその生產物の價格の下落を防止せんが爲に若しくは價格の騰貴を計らんが爲には、屢々その生產物を破毀する。彼は社會の爲に生產し若しくは市場に持ち出すのではない。彼は彼の個人的利益のためにさうするのである。隨つてそれがその生產物の價格の騰貴を來たす若しくは下落を防ぐものならば、時としてはその生產物を破毀することも手段として辭するものではない。

社會主義の先驅者の一人たるフランスのフーリエと云ふ人が、マルセイユ（フランスの港で、日本の橫濱の樣な所）で、山なす穀物を積んで入港した船がその穀物を海中に投じて居るのを見て、それから社會主義者になつたと云ふのは有名な話である。が、似た例はどこの國にもある。曾つて橫濱に荷を積んで入港した砂糖船が日本國內の砂糖の價格を益々吊り上げんが爲に、折角積んで來た砂糖を海中に投じたことがあると傳へられ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。以上の例とは異つて惡意のあるものではないが、同樣の例を嘗つて私も偶然知ることが出來た。北海道宗谷線に沿ふた一帶の土地は、日本切つての馬鈴薯の產地であつて、私の友人はそこに百姓して居るが、ある年私は彼を訪れて同樣の驚くべき事實を聞かされた。この宗谷線の沿帶地は馬鈴薯を以つてその主要生活資源として居るのであるが、澱粉の價、隨つて馬鈴薯の價の安い時にはこの地方では殆んど一體にその馬鈴薯をそのまゝ畑の中に腐らして了ふ。何年目毎にかかうして驚くべき高の富が、畑の中に破毀されるのである。これは社會的立場から見ては驚く〴〵べき不合理である。が今日の資本主義治下に於ける馬鈴薯の生産者としては當然である。彼等は今年割に合はない手間をかけて市場に出して損して賣るよりは、今年は供給を無くして來年高く賣つた方が結局得なのである。

(2)不景氣に現はれたその作用

この生産の人爲的制限の作用は、所謂不景氣の中に最も露骨に見ることが出來る。所謂不景氣なるものは元來過剩生産の結果として來たれるものである。即ち社會は物を作り過ぎて隨つて物が有り過ぎて貧乏するのである。このことは一面甚だ奇異に感ぜられるかも知れないが、資本主義生産の本質を考ふるならば決して不思議なものではない。元來今の世の中に於ては殆んどあらゆるものは賣つて儲けを得んが爲に生産される。所が社會の購買能力には限りが有るから、やがて需要以上に生産され、生産物が蓄積されることになる。所で資本家若しくは企業家は元來儲けが目的だから賣れなくなると早速その生産力の運用を一部或は全部休止させる。即ち生産を制限する。生産力の運用を休止させると云ふことは取りも直さず無産階級の一部が失業すると云ふことに他ならない。所で社會の失業が増大すると社會の購買力が益々減つて來る。社會の購買力が益々減つて來ると益々物は賣れなくなつて來るから、益々生産力を縮小し緊縮しなければならない。隨つて又益々失業が増大すると云ふ結果になる。

この作用を指して資本主義の自動的ブレーキの作用若しくは自繩自縛の作用と云ふ。

かくして無産階級の血の出る樣な苦しみの而して不合理極まる不景氣が開展されるのである。この事實を試みに昨今の日本に見よ。日本に於ては此處數年來甚しい不景氣に陷つて居る。農村から都會、都會から農村にかけて不景氣風は容赦なく吹き荒れて居る。中産階級は續々破産して行く。無産階級は辛うじて露命をつないで居る。全國に亘つて幾千、幾萬の工場は閉鎖され、無數の工事は中止され、ありとあらゆる仕事は緊縮に緊縮を加へられ、失業者は到る所群をなして居る。生産力が足らなくて、隨つて物が足らなくて貧乏して居るのではない。生産力が有り過ぎ、物が有り過ぎて貧乏して居るのである。即ち多くの生産機關はその運轉を中止され、多くの勞働者は失業して居り、社會の一方には物は澤山あり餘つて所有者はその賣れないのに七轉八倒して居る。今日此頃の彼等の倉庫の中には毎日莫大な高の生産物が腐敗して行きつゝあるのである。そんなら社會の大多數は最早之等の生産物を必要として居ないかと云ふに、途方もない話だ。現在日本社會の大多數は飢ゑに苦んで居り、衣食住により豐かならんことを切望して居るのであるが、彼等には購買能力がないのだ。かくて今日の社會の一方には物を擁して賣らんとして賣り得ないで呻吟する人々があり、他方には物に缺乏して買はんとして買ひ得ないで呻吟して居る人々があるのである。かくて今日の社會は自らその有する生産力を制限し、放棄し、社會的富の增大を自ら制限し放棄するの止むを得ざるに陷つて居るのである。これは社會的立場から見て甚しき無駄でなくて何んであらうか。若しも生産が社會の手に依つて社會の利益の爲に營まれるならば、どこに斯の如き生産の人爲的制限の必要があらうか。（以下次號）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

主幹 赤松克麿

民衆新聞

混沌たる現時我國の社會運動に一道の光明を齎す民衆の言論機關生る。現實主義の進軍喇叭であり、健全なる社會運動の指針である本紙を讀まずして今日の時勢を語る勿れ。

六月一日創刊 月二回發行 定價一部二錢

東京市芝區新堀町三十一番地

民衆新聞社

年中無休

日本一の政治勞働新聞

一ケ月五拾錢 一ケ年六圓

社會日々新聞

主幹 柴尾與一郎

東京市芝區愛宕町二ノ二

電話 高輪 二七六八 七九〇六 番

サクラビール

帝國麥酒株式會社

東京―大阪―門司

桑田次郎編述

電車ストライキ

四六版約八百頁　定價貳圓　送料二十錢

本書は昨年大阪に於ける大阪市電ストライキを中心として、其他最近京阪地方に勃發したる交通勞働に關する爭議及び罷業の明細なる眞相及顛末の記錄書である。內容は前後二編と分ち、前編には一々其の爭議の詳細なる顛末をのべ、後編は主張批判感想編として、組合代表者、社會運動家、社會主義學者、五十餘氏の痛烈なる批判、感想の檄文が連ねてある。

桑田次郎編述

南海の勞働運動史

四六版三百三十頁　普及版八十錢　送料十錢

現實に囚はれるのは愚だ。併しわが勞働運動の歷史と現狀を知らずして、社會問題の解決を叫ぶのは無暴も甚だしい。我國最初の純勞働者の書いた勞働運動史である本書を讀まずして、社會問題を口にすること勿れ!!

發行所　東京市京橋區銀座弓町一番地　クラルテ社

本社でも取次販賣をいたします。

討閥

六月廿日發行

社會運動の閥賊、首領の行動、大庭虐殺眞相、勞働團體思想團體、乘取事件

（一部五錢）

金銀
白金

東京市神田區松田町

德力本店

自由新聞

一部十錢

牛込區原町一ノ七一

自由新聞社

平等新聞

一部五錢

靜岡縣島田町

平等新聞社

京都市下京區寺町四條上ル

帝國實業貯蓄銀行

京都支店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人良薬

喜谷實母散

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

本舗

東京京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋五五番五六番

サンガス入電球

電氣が少しで丈夫で明るい

良いものは結局お徳

大阪市外大仁七〇

大阪電球株式會社

電話土佐堀長 二一六〇 三八二一 三一六一 三八三二

大黒 粟オコシ 福オコシ

大阪あみだ池

大阪實用百貨……
松坂屋呉服店
日本橋……良品廉賣……

お買物は三越

◈三越には日常生活の御必要品は大低御座います
◈良い品は東京に限りますが東京でも三越の品ならば御安心であります

品は良く、價は廉く、品數は豊富

三越呉服店
◇東京駿河町◇

皆様の言葉「御買物ハ常ニ丸菱」
新百貨店
丸菱呉服店
丸ビル

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十五年六月一日發行
毎月一回一日發行
定價一部十錢（税五厘）半年六十錢一年一圓（税共）
廣告料一行一圓一頁三百圓
發行所　東京市神田區猿樂町二ノ一（振替東京六九八五三）進め社本部
發行兼編輯印刷人　福田狂二
大阪市東淀川區十三南之町　大阪營業所